

# 現「仙台市みどりの基本計画」の 振り返り等について

杜の都の環境をつくる審議会

第1回「仙台市みどりの基本計画」改定検討部会

---

令和2年1月23日

建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課

# 目次

---

1. 緑の基本計画とは
2. 現計画の振り返り
3. 社会情勢等の変化
4. 本市のみどりの特徴と現状
5. 課題の抽出

# 目次

---

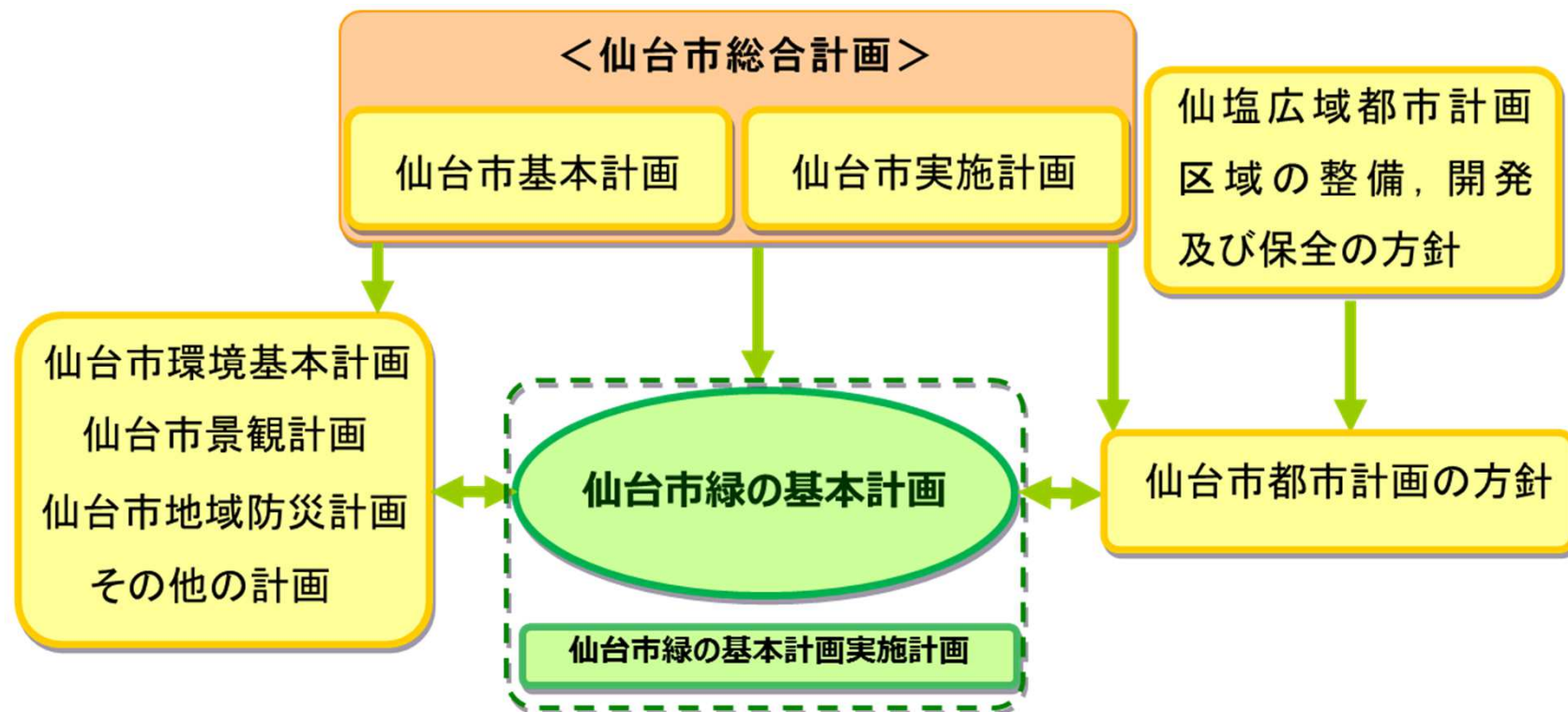
1. 緑の基本計画とは
2. 現計画の振り返り
3. 社会情勢等の変化
4. 本市のみどりの特徴と現状
5. 課題の抽出

# 1. 緑の基本計画とは

## (1) 緑の基本計画とは

- ・ 都市緑地法第4条に定められた緑のまちづくりを推進していくための計画  
(本市では、杜の都の環境をつくる条例第10条に緑の基本計画の策定を明記)

## (2) 本市における緑の基本計画の位置づけ・計画期間



- ・ 計画期間：総合計画及び関連計画と調整の上，決定される

# 1.緑の基本計画とは

## (3) 緑の基本計画の対象等

緑の基本計画の対象は、都市緑地法運用指針（国土交通省，2018）にて、「公園、道路、河川、港湾などの公共施設の緑化に限らず、広く学校や工場の緑化等についても対象とすることが望ましい」とされている。

また、対象とする「緑地」については、都市緑地法第3条第1項に定義されている緑地の範囲と同様で、「樹林地，草地，水辺地，岩石地若しくはその状況がこれらに類する土地（農地※であるものを含む。）が単独で，若しくは一体となって，又はこれらと隣接している土地がこれらと一体となって良好な自然的環境を形成しているもの」とされている。

→現行の仙台市緑の基本計画（仙台市みどりの基本計画）では、平仮名で「みどり」と総称している

※都市農業振興基本法（平成27年法律第14号）に基づく都市農業振興基本計画において、都市農地が都市に「あるべきもの」と位置付けられたことを踏まえ、都市緑地法等の一部を改正する法律（平成29年法律第26号）による法改正において、緑地に含まれるものとして明確に位置付けられたもの。

# 1.緑の基本計画とは

## (4) 緑の基本計画に定める主な内容

都市緑地法第4条第1項、第2項において、主として都市計画区域内において講じられるもので、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する措置を定めることとされている

### 【主な内容】

- ・ 緑地の保全及び緑化の目標
- ・ 緑地の保全及び緑化の推進のための施策に関する事項
- ・ 都市公園の整備及び管理※の方針その他保全すべき緑地の確保及び緑化の推進に関する事項
- ・ 特別緑地保全地区内の緑地の保全に関する事項
- ・ 重点的に緑地の保全に配慮を加えるべき地区並びに当該地区における緑地の保全に関する事項
- ・ 緑化地域における緑化の推進に関する事項
- ・ 重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区及び当該地区における緑化の推進に関する事項

等

※平成29年の都市緑地法の改正により、平成30年4月1日から緑の基本計画に都市公園の管理方針及び生産緑地地区内の緑地の保全に関する事項が追加されたこととなった

# 1.緑の基本計画とは

(5) 現行の仙台市緑の基本計画（仙台市みどりの基本計画）について

## 【計画の構成】

序 みどりの基本計画

第Ⅰ編 みどりの現状と課題

第1章 みどりの現状

第2章 みどりの分析と課題

第Ⅱ編 目指す将来像と実現のための施策展開

第1章 基本理念とみどりの将来像

第2章 基本方針と具体的な施策

第3章 百年の杜づくりプロジェクト

第4章 区別の施策展開

第5章 計画の推進方策・・・・・・・・・・ 参考資料2を参照

参考資料1を参照

第Ⅲ編 特定の地区における緑化推進及び緑地保全に関する事項

# 目次

---

1. 緑の基本計画とは
- 2. 現計画の振り返り**
3. 社会情勢等の変化
4. 本市のみどりの特徴と現状
5. 課題の抽出



## 2. 現計画の振り返り

### (1) 目標の達成状況（みどりの量の目標）

評価対象	指 標	基準値 (平成22年度)	目標値	現況値 (平成30年度)	評価
市域全域	みどりの総量 (緑被率)	78.8%※1	維持・向上	79.3%※2	◎
都市計画区域	都市公園等の 一人当たり面積	15.8㎡	20㎡	18.5㎡	△
	都市公園の 一人当たり面積	12.8㎡	17㎡	15.4㎡	△
市街化区域	市街地のみどりの 総量（緑被率）	29.8%※1	維持・向上	32.1%※2	◎
	担保性のある 緑地の面積	約2,200haから 250ha増加	250ha増	226.94ha増	○

【凡例】 ◎目標を達成, ○目標達成に向けて順調, △目標達成が困難  
※1：平成21年度調査, ※2：平成26年度調査

#### 〈評 価〉

市域全域及び市街化区域では、緑被率が向上し、目標を達成している。また、担保性のある緑地についても、順調に増加しており、目標達成に向けて順調である。

都市計画区域における都市公園(等)の一人当たり面積は、境界確定等に時間を要している未公告緑地の影響により、目標達成が困難な状況にある。

## 2. 現計画の振り返り

### (1) 目標の達成状況 (みどりの質の目標①)

安全安心：自然災害を防ぎ、被害を軽減する「みどりの質」を高めます  
→みどりによる津波防災プロジェクト

#### 〈成果指標〉

内 容	基準値	目標値	現況値	評価
海岸防災林の植林面積 (国による民有林直轄治山事業等)	—	対象面積全て (141.0ha)	105.21ha/7年	○
海岸公園の開園面積	—	一部開園	開園面積37.5ha (事業完了)	◎

【評価の凡例】 ◎：目標を達成 ○：目標達成に向けて順調 △：目標達成が困難

#### 〈評 価〉

海岸防災林の植林面積について、ふるさとの杜再生プロジェクトによる植樹の実施など順調に推移している。  
また、海岸公園についても、平成29年度に災害復旧工事が完了するとともに避難の丘を整備し、平成30年7月には全施設の利用を再開した。



## 2. 現計画の振り返り

### (1) 目標の達成状況 (みどりの質の目標②)

自然環境：生物多様性の保全や地球環境温暖化の緩和に寄与する「みどりの質」を高めます→みどりの骨格充実プロジェクト

#### 〈成果指標〉

内 容	基準値	目標値	実績	評価
二酸化炭素固定量	平成22年度 30,289t/年	42,500t/年	平成30年度 36,815 t /年	△
身近な生き物の認識度	平成22年度 9種合計 440.7%	現在より向上	令和元年度 (速報値) 9種合計 505.3%	◎

【評価の凡例】 ◎：目標を達成 ○：目標達成に向けて順調 △：目標達成が困難

#### 〈評 価〉

二酸化炭素固定量については、算出対象となる高木植栽本数、新規都市公園面積、市有林の施業面積の全項目において、事業費不足等から事業の進捗に遅れが見られ、目標値を下回っている。

一方で、身近な生き物認識度については、目標値を上回っており、自然環境を生かした公園緑地整備、河川改修を実施することで、生き物の生息環境を改善するとともに仙台市生物多様性地域戦略(H28作成)に基づく市民イベントの開催等により、普及啓発が図られたためと考えられる。



周辺環境に配慮し、空積みにより整備された護岸 (鰻沢川)

## 2. 現計画の振り返り

### (1) 目標の達成状況（みどりの質の目標③）

生活環境：市民ニーズに対応し、快適な暮らしを支える「みどりの質」を高めます  
→街のみどり充実プロジェクト，魅力ある公園づくりプロジェクト

#### 〈成果指標〉

内 容	基準値	目標値	現況値	評価
市街化区域内の私有地の緑化面積	平成22年度 21.86ha	50ha増/9年	平成30年度 45.5ha増/7年	○
市街化区域内の樹林地面積	平成21年度 3,836ha	現状維持	平成26年度 3,757ha	△
街区公園整備・再整備箇所数	平成22年度 45箇所	450箇所/9年	平成30年度まで 253箇所/7年	△
市民の公園利用頻度※	平成24年度 21.4%	現在より向上	令和元年度（速報値） 21.0%	△

※令和元年度みどりに関する市民意識調査において、住まいの近くの公園利用頻度を尋ねた際に、「週1回以上」と選択した回答者の割合  
【評価の凡例】◎：目標を達成 ○：目標達成に向けて順調 △：目標達成が困難

#### 〈評 価〉

私有地の緑化面積については、条例に基づく緑化義務により、緑化面積が着実に増加した。市街化区域内の樹林地面積は減少しており、開発行為（国見，錦ヶ丘地区）と東日本大震災の津波による消失（蒲生，港地区）が主な理由と考えられる。

また、街区公園の再整備・整備箇所数は、事業費不足を主な原因として、目標値の達成が困難な状況にある。公園利用頻度についても、目標値を達成できておらず、市民ニーズに対応した公園サービスの不足等が要因と考えられる。

## 2. 現計画の振り返り

### (1) 目標の達成状況（みどりの質の目標④）

仙台らしさ：歴史や文化と調和し、仙台らしさを表す「みどりの質」を高めます  
 →みどりの地域資源活用プロジェクト、「百年の杜」シンボルエリア形成プロジェクト

#### 〈成果指標〉

内 容	基準値	目標値	現況値	評価
保全制度による屋敷林・鎮守の杜の新規保全箇所数	平成22年度時点 2箇所	10箇所増/9年	令和元年度(速報値) 8箇所増/8年	○
百年の杜ホームページのアクセス数	平成22年度 62,324件/年	120,000件/ 年	平成30年度 103,192件/年	○
仙台都心部緑化重点地区内緑被率	平成21年度 11.7%	13%	平成26年度 13.5%	◎
仙台都心部10路線平均緑視率	平成20年度 26.8%	30%	平成26年度 31.7%	◎

【評価の凡例】 ◎：目標を達成 ○：目標達成に向けて順調 △：目標達成が困難

#### 〈評 価〉

条例に基づく保存樹林制度の活用により屋敷林等の貴重な樹林の保全が図られている。また、SNSの活用等により、HPアクセス数も順調に増加している。

仙台都心部緑化重点地区内の緑被率については、民有地緑化の増加や街路樹、公園樹の成長が要因と考えられ、仙台都心部10路線平均緑視率も同様に既存の街路樹等の成長が要因と考えられる。

## 2. 現計画の振り返り

### (1) 目標の達成状況（みどりの質の目標⑤）

市民協働の推進：市民が仙台のみどりを誇りと感じ、様々な主体が連携してみどりの活動を行う「みどりの活動環境の質」を高めます  
→市民主体のみどりのまちづくりプロジェクト

#### 〈成果指標〉

内 容	基準値	目標値	現況値	評価
みどりの市民活動団体主催の市民向けイベント数	平成22年度 193件/年	1,500件/9年	平成30年度 811件/7年	△
みどりの活動を行う事業者数	平成21年度 248事業者/年	2,300事業者 /9年	平成30年度 2,483事業者/7年	◎

【評価の凡例】 ◎：目標を達成 ○：目標達成に向けて順調 △：目標達成が困難

#### 〈評 価〉

みどりの市民活動団体主催の市民向けイベント数は、現況値と目標値を単年度当たりで比較すると、現況は目標の約7割程度に留まっており、目標達成が難しい状況にある。震災以降イベント数が減ってしまったことや、団体会員の高齢化により活動が縮小していることが要因と考えられる。

一方で、みどりの活動を行う事業者数は、目標を達成しており、広瀬川の清掃活動など一度に多数の企業が参加するイベントの開催や事業への携わり方が協賛や寄付など多様であることが要因となっている。



緑の活動団体(平成29年度)

# 目次

---

1. 緑の基本計画とは
2. 現計画の振り返り
- 3. 社会情勢等の変化**
4. 本市のみどりの特徴と現状
5. 課題の抽出

### 3. 社会情勢等の変化

#### ○本市の社会状況の変化

##### (1) 人口減少社会の到来

人口は2020年頃をピークに減少局面を迎えるとされ、2050年代には100万人を下回る予想がされている。

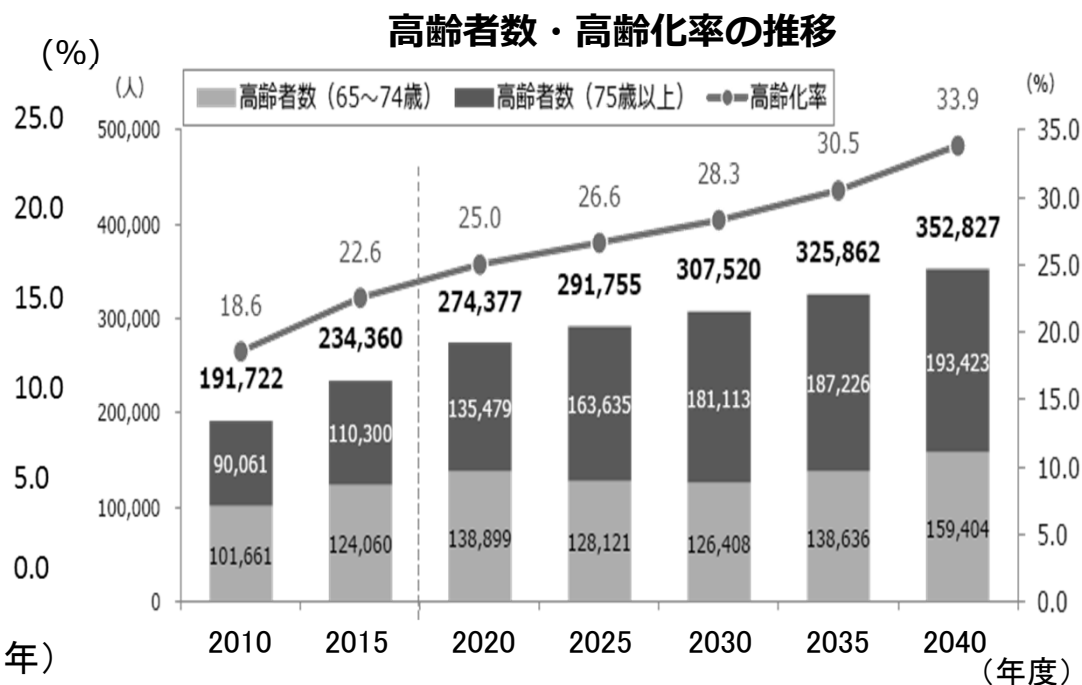
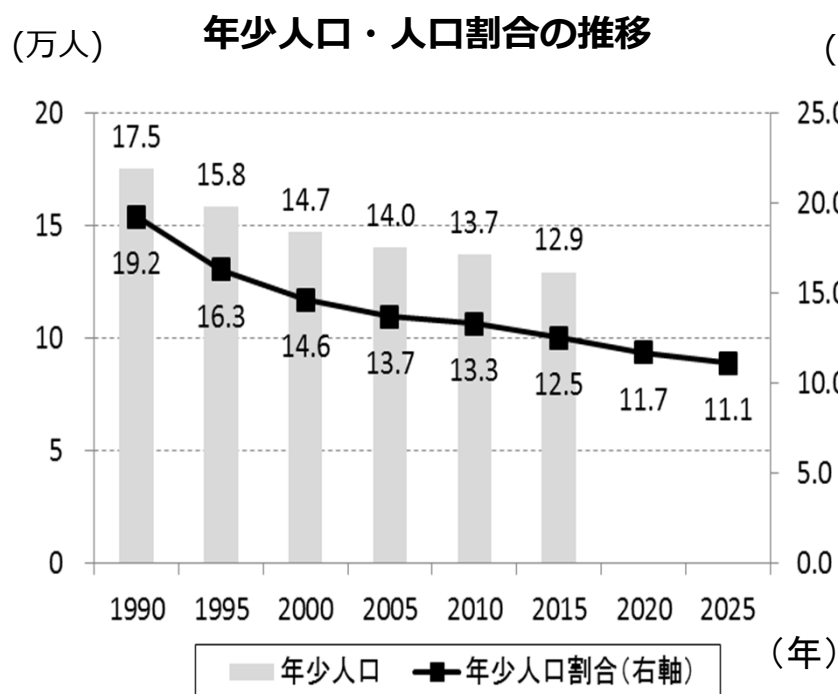




### 3. 社会情勢等の変化

#### (2) 少子高齢化の進行

年少人口(0~14歳)割合が低下し、高齢人口(65歳以上)が増加している。

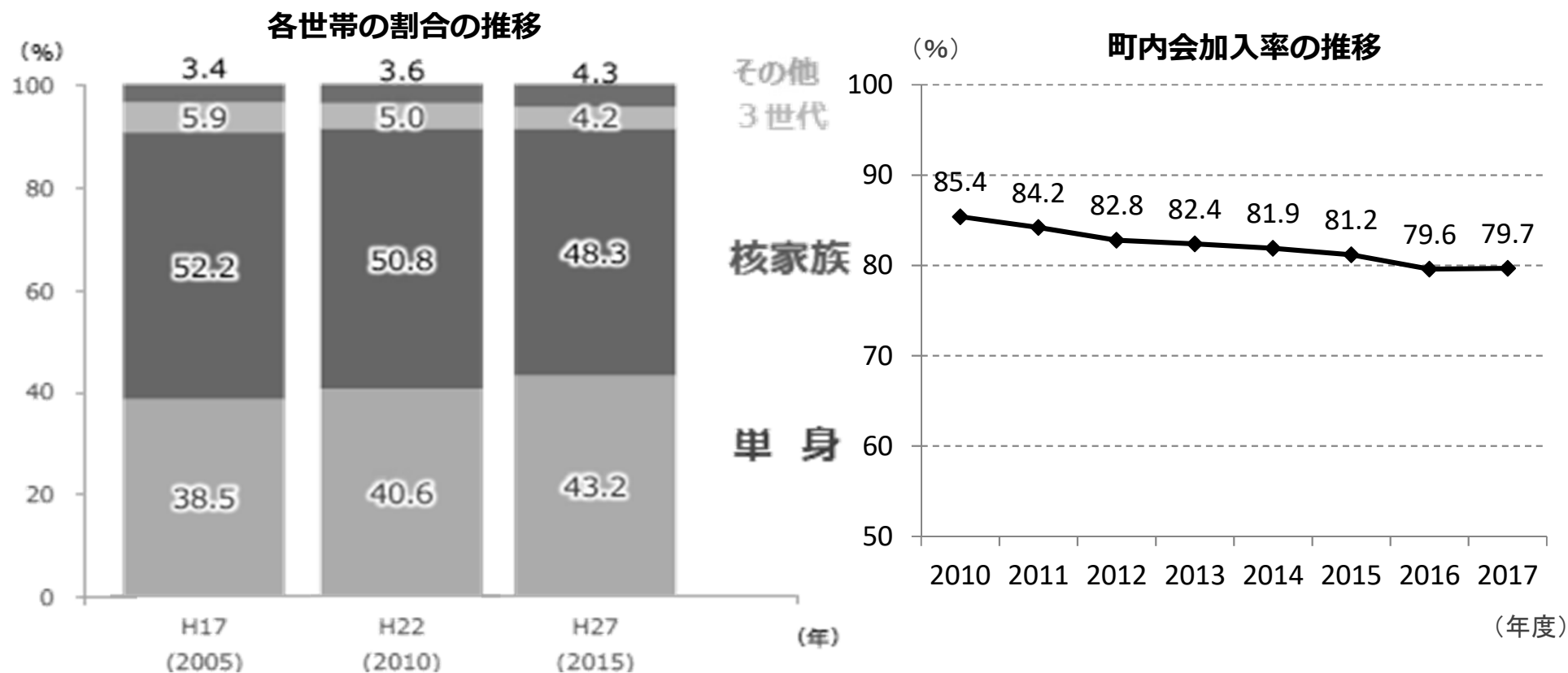


※2020年以降は推計

### 3. 社会情勢等の変化

#### (3) 地域コミュニティの変化

単身世帯が増加傾向にある。また、町内会への加入率は8割弱であるものの、年々低下している。

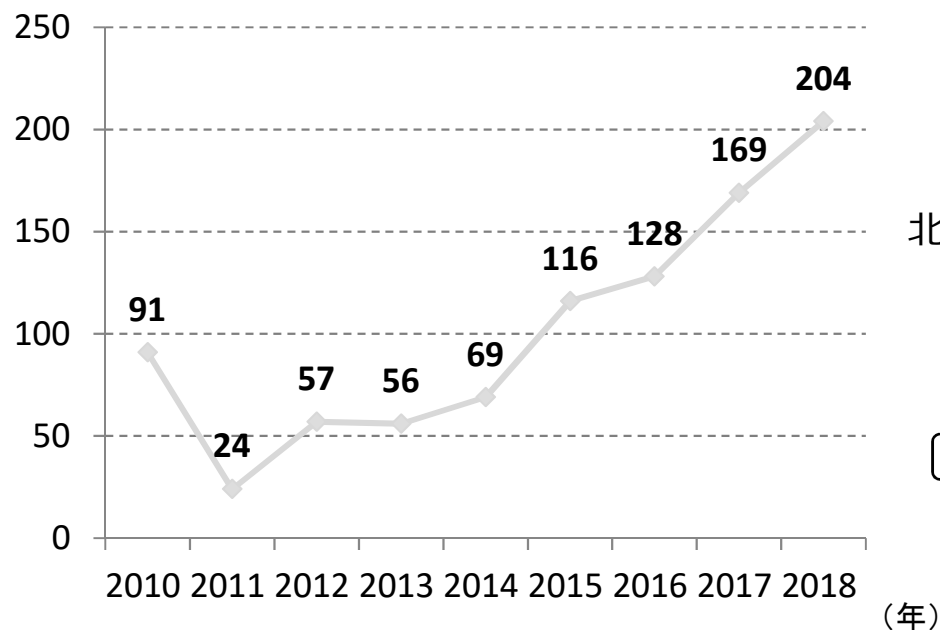


### 3. 社会情勢等の変化

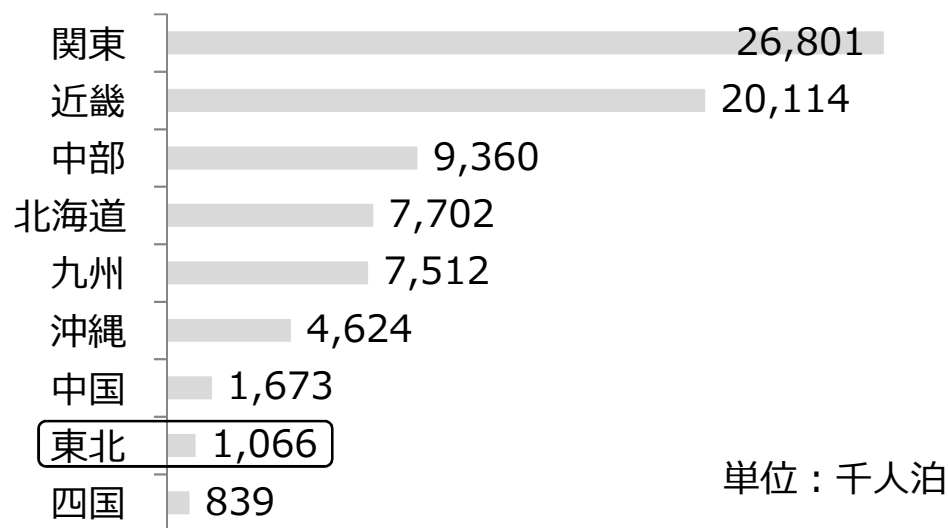
#### (1) 4) グローバル化の進展・交流人口の拡大

本市の外国人宿泊者数は2015年以降毎年過去最高を更新しているが、地域別で比較すると、東北地方全体では外国人宿泊者数が占める割合は依然として低い。

(千人) 仙台市における外国人宿泊者数の推移



国内地域別外国人延べ宿泊者数(平成29年)



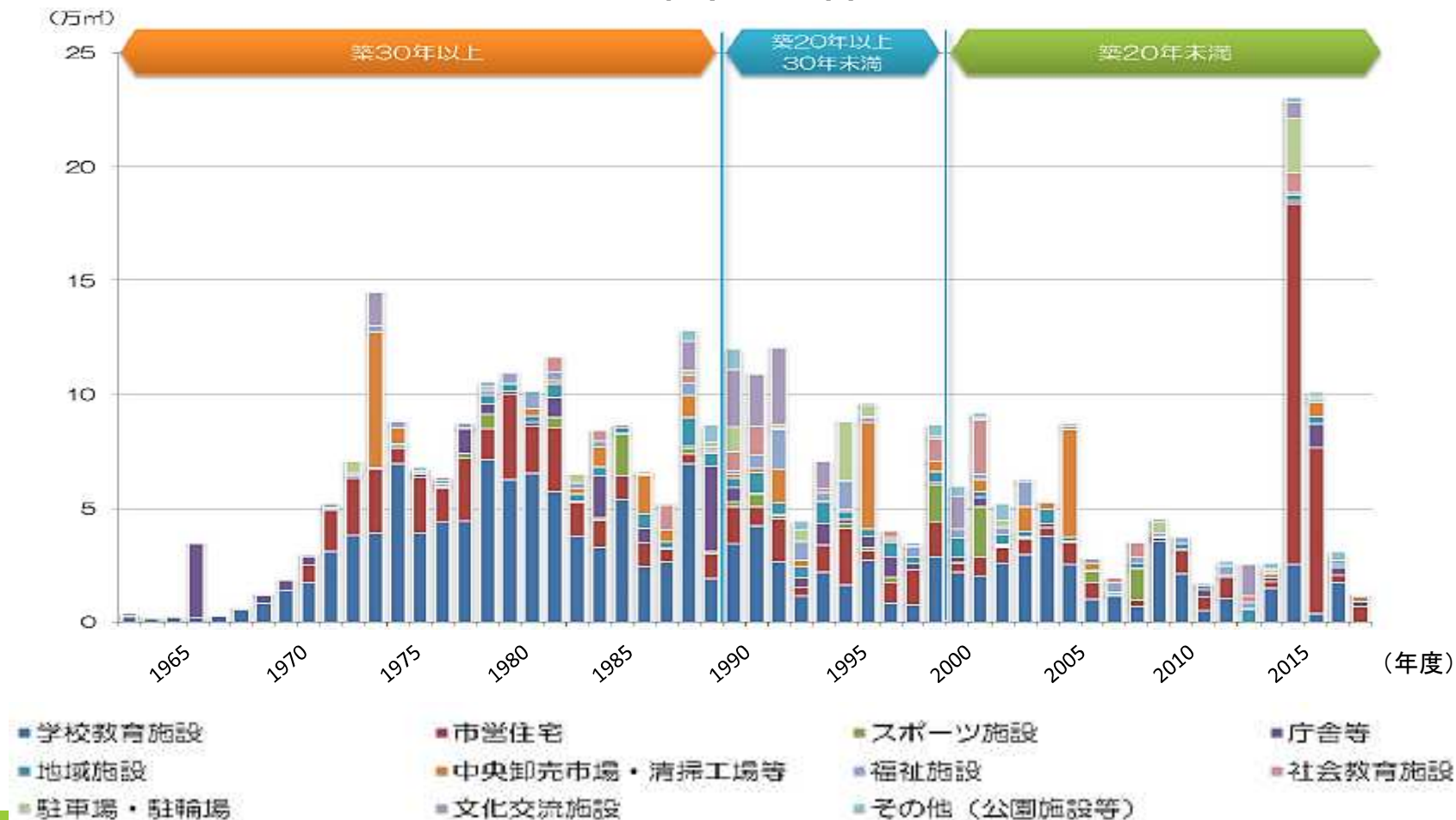
単位：千人泊

### 3. 社会情勢等の変化

#### (5) 社会資本の老朽化

公共施設（建築物）のうち、築30年以上の施設が4割あり、更新時期を迎えており、施設の維持・保全に膨大な経費がかかることが予想されている。

整備年度別床面積

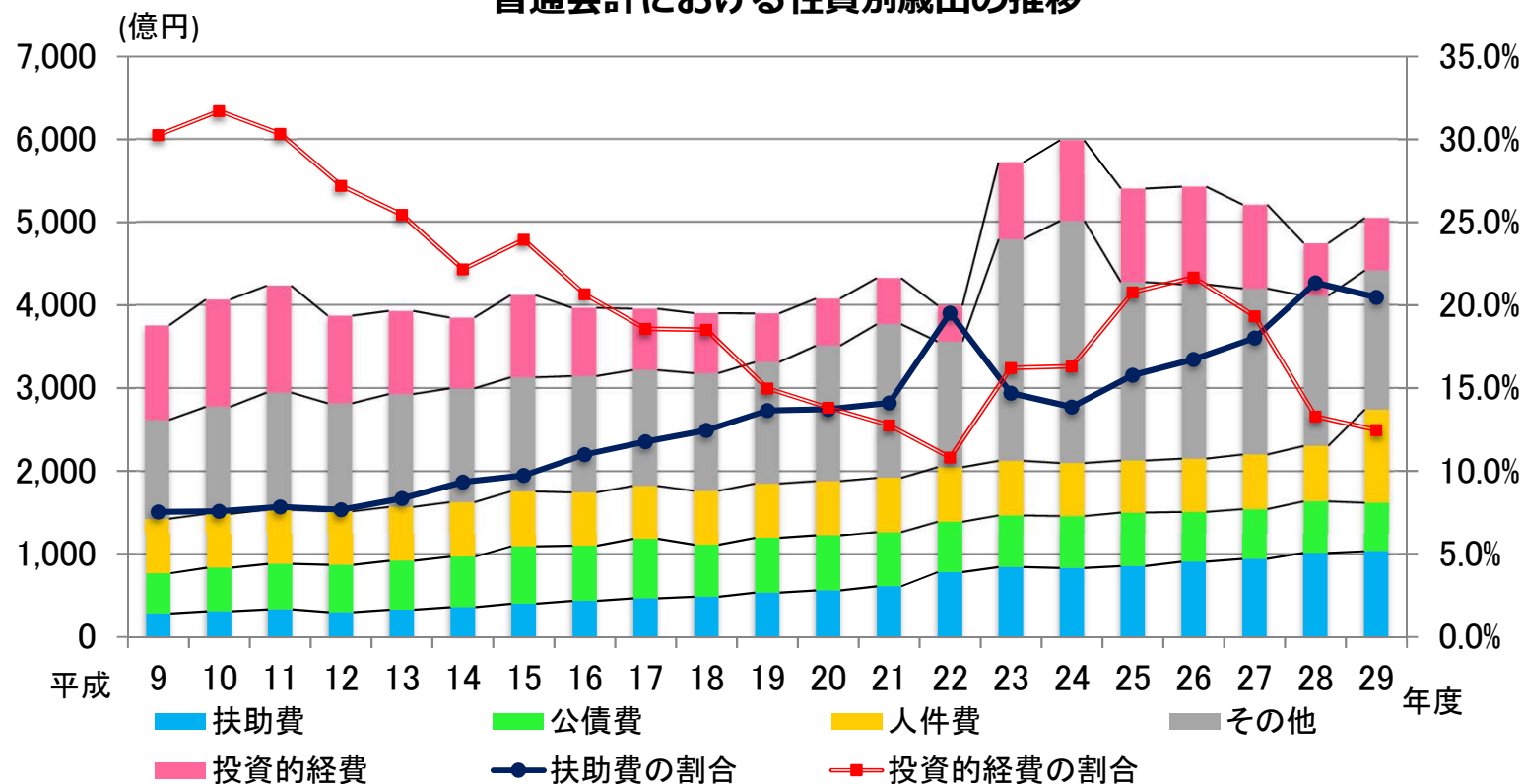


### 3. 社会情勢等の変化

#### 6) 財政制約

扶助費（子育て支援や生活保護等の福祉関係の費用）等の義務的経費の増加に伴い、投資的経費（社会資本整備や災害復旧事業）が減少している。

普通会計における性質別歳出の推移



【出典】「平成29年度の普通会計決算の状況(平成30年)」を基に作成

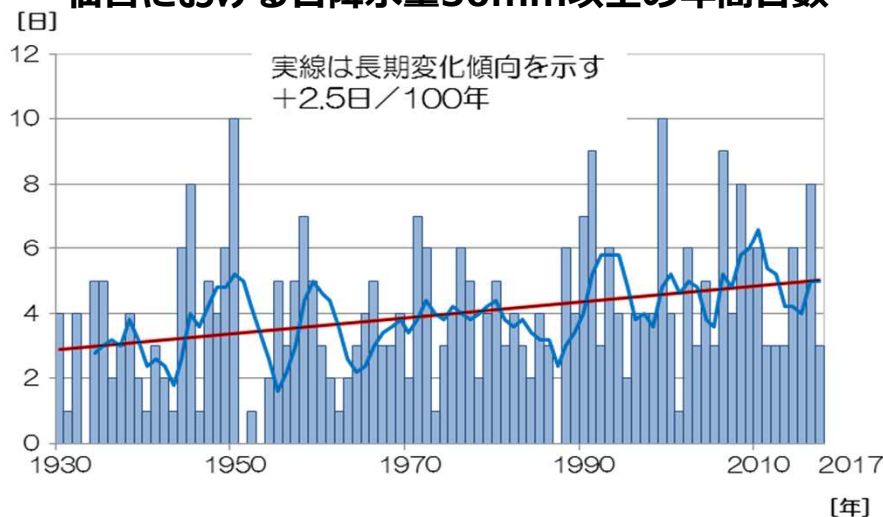
※平成28年度から平成29年度にかけて、人件費が増加した要因は、県費負担教職員権限移譲による。

### 3. 社会情勢等の変化

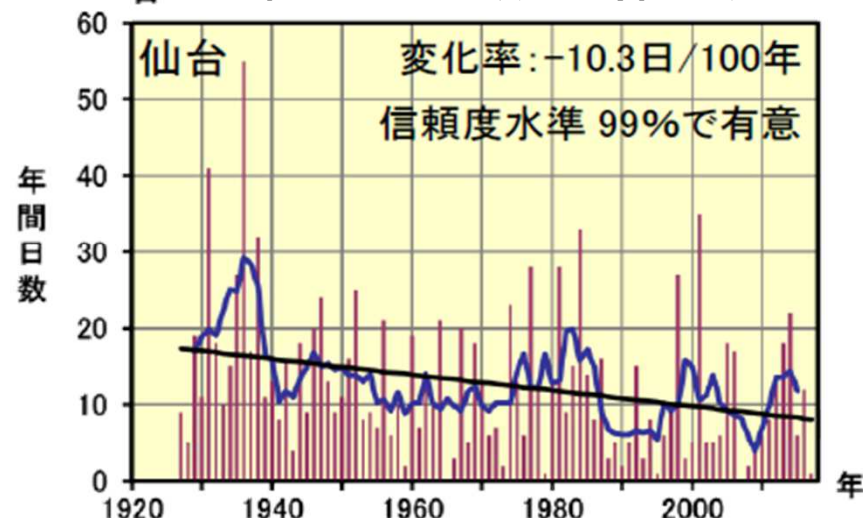
#### (7) 地球温暖化に伴う気候変動

地球温暖化が要因と考えられる気候変動から、大雨日数の増加や5 cm以上の降雪日数の減少傾向が認められる。また、熱中症患者の増加も認められる。

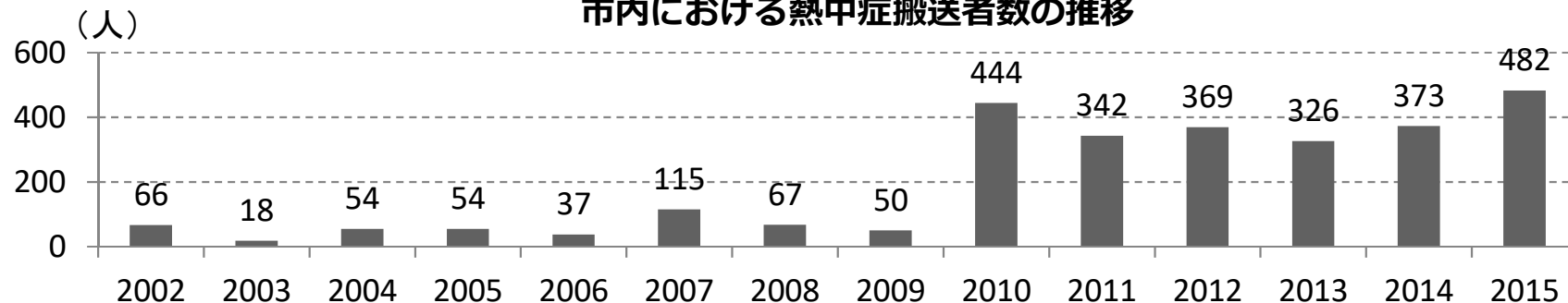
仙台における日降水量50mm以上の年間日数



日 日最深積雪5cm以上の年間日数



市内における熱中症搬送者数の推移



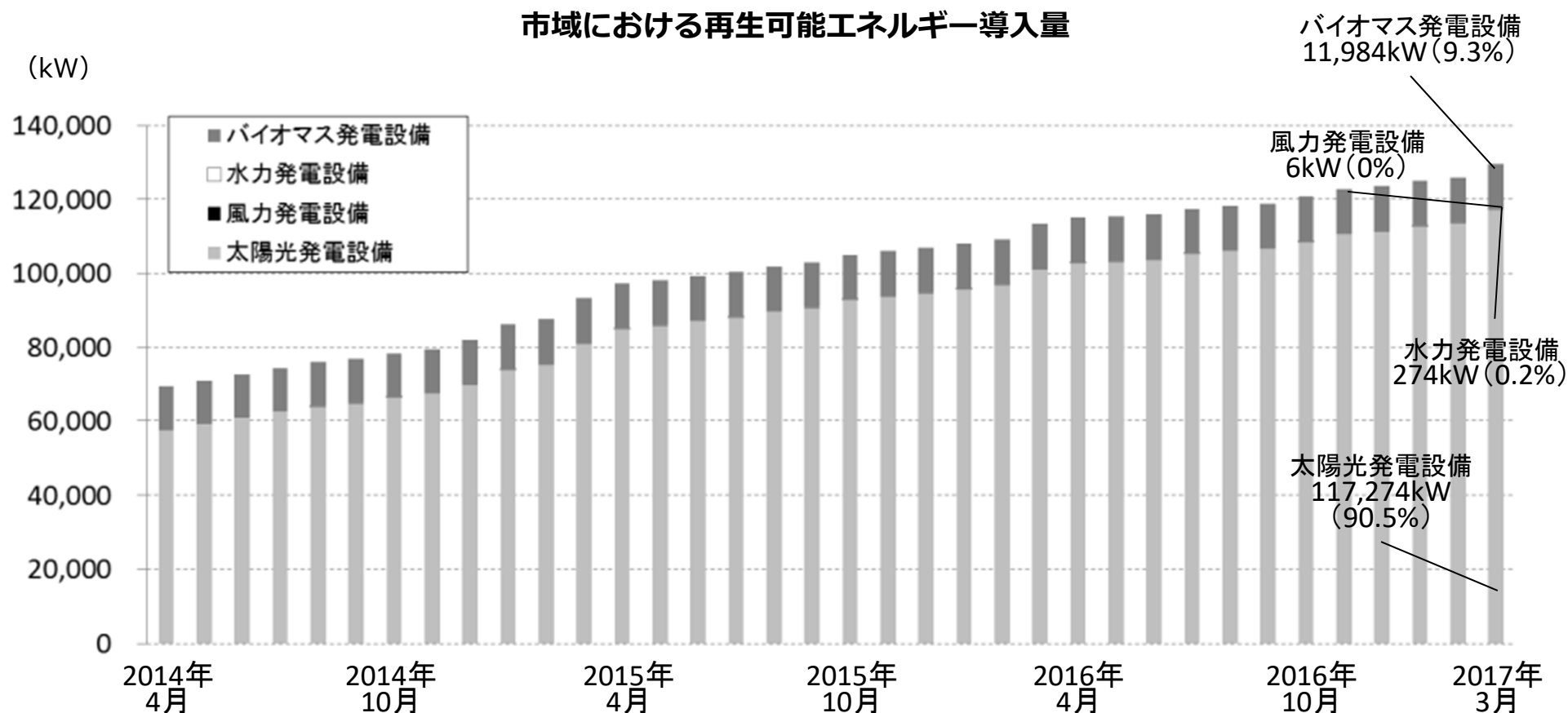
※2010年以降の増加には、症状認知等に伴う症例報告の増加や集計期間の変更なども影響している可能性がある

【出典】左:仙台管区気象台データを基に作成、右:仙台管区気象台「東北地方の気候の変化(平成28年12月)」  
下:熱中症患者情報速報平成27年度報告書(国立環境研究所)

### 3. 社会情勢等の変化

#### (8) 再生可能エネルギー導入量の増加

2012年の再生可能エネルギー固定価格買取（FIT）制度開始等をきっかけに、太陽光発電の導入量が増加傾向にある。



### 3. 社会情勢等の変化

#### 〇みどりを取り巻く世界の動向

##### 1) 「持続可能な開発目標 (SDGs)」 (2015)

国連で採択された2030年までの世界全体の開発計画。貧困や飢餓、エネルギー、気候変動等、世界規模で深刻化する様々な課題に対して、世界共通の目標として「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指すこととされた。



##### 2) 「仙台防災枠組」 (2015)

本市で開催された第3回国連防災世界会議において採択された防災行動に関する国際的指針。7つの世界規模の目標と4つの優先すべき行動が掲げられた。生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)の考え方が盛り込まれる。



##### 3) 「パリ協定」 (2016)

地球温暖化対策の国際的な枠組みとして2016年に発効。世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満に抑えるとともに、できれば1.5℃に抑える努力を追求する。また、今世紀後半には温室効果ガスの排出の実質ゼロを目指すこととされた。2020年から実施される。

##### 4) IPBES (生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム) による評価報告 (2019)

約100万種の動植物が絶滅危機に瀕し、その多くが今後数十年で絶滅する可能性があるという、生物多様性や自然の恵みなど地球規模の現状や将来予測がまとめられた。

##### 4) ESG投資の加速

環境 (Environment) , 社会 (Social) , ガバナンス (Governance) に貢献している企業へ投資する動きの加速。国内でも4,740億ドル (2016) ⇒2兆1,800億ドル(2018)と4倍以上に急増した。



### 3. 社会情勢等の変化

#### ○みどりを取り巻く国内（法制度・政策等）の動向

##### 1) グリーンインフラに関する取組みの促進

昨今の社会経済情勢の変化を踏まえ、次世代を見据えた社会資本整備や土地利用を推進する観点から、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市づくりを進める取組みを進めることが目的とされている。

##### 【関連法制度・政策等】

「グリーンインフラ推進戦略（2019）」

##### 2) 生物多様性保全・気候変動等への対応

東日本大震災を踏まえた今後の自然共生のあり方や地球温暖化に起因する気候変動に対応することが目的とされる。

##### 【関連法制度・政策等】

「生物多様性国家戦略（2012）」、「気候変動的適応法（2018）」、「森林環境税・森林譲与税（2019～）」など

##### 3) 都市公園等の公共空間の積極的な活用・民との連携の促進

様々な役割を担う都市の緑空間について、民との連携等により、保全や積極的な活用を行うことで、ポテンシャルを最大限引き出すことが目的とされる。

##### 【関連法制度・政策等】

「新たなステージに向けた緑とオープンスペースの政策展開について（2016）」、「都市再生特別措置法等の一部改正（2016）」、「都市緑地法等の一部改正（2017）」、「『居心地が良く歩きたくなるまちなか』づくりへの取組み（2019）」など

# 目次

---

1. 緑の基本計画とは
2. 現計画の振り返り
3. 社会情勢等の変化
- 4. 本市のみどりの特徴と現状**
5. 課題の抽出

## 4. 本市のみどりの特徴と現状

### ○みどりに関する計画の変遷

量的拡大から質的向上, ストックの利活用へ

量的  
拡大

質的  
向上

杜の都の環境をつくるための基本方針（昭和48年）

仙台市都市緑化推進計画（昭和62年）

仙台市緑の基本計画（平成5年）

仙台グリーンプラン21（平成9年）

百年の杜づくり行動計画（平成11年）

仙台のみどりの基本計画（平成24年～令和2年）

百年の杜づくりプロジェクト推進計画

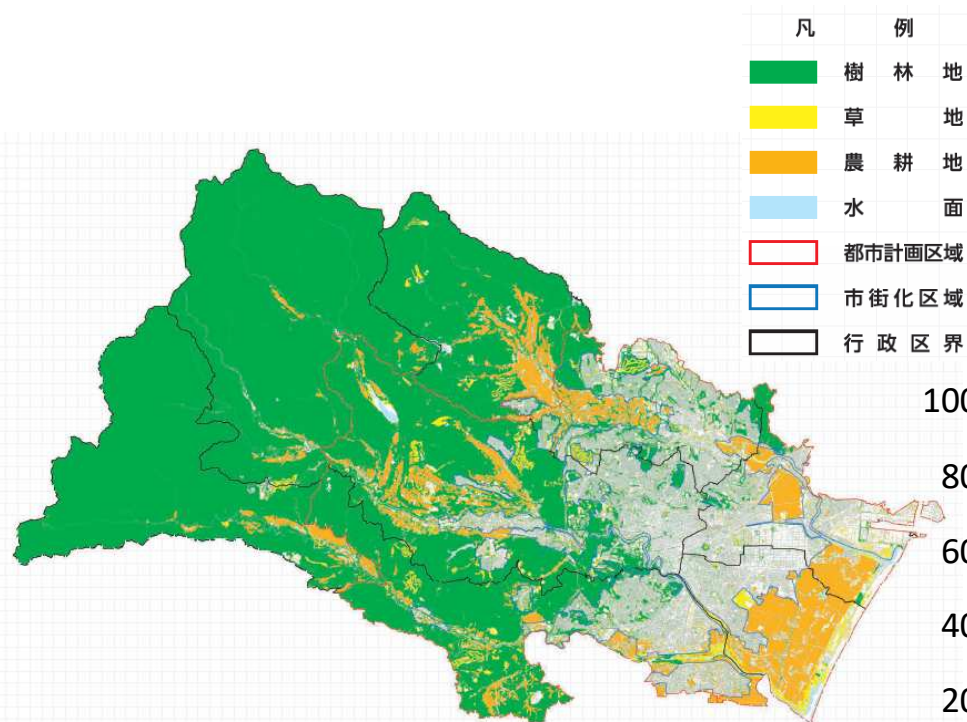
- ・仙台市公園マネジメント方針（平成29年）
- ・仙台市街路樹マネジメント方針（素案）（令和元年）

次期仙台市緑の基本計画

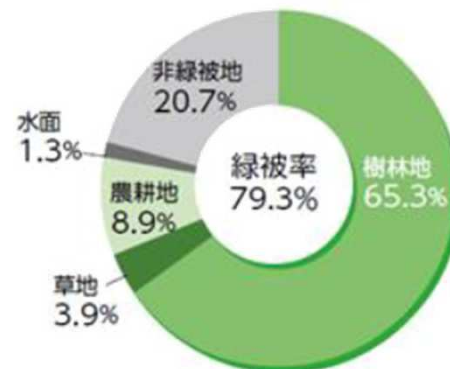
# 4. 本市のみどりの特徴と現状

## ○市域全体のみどり

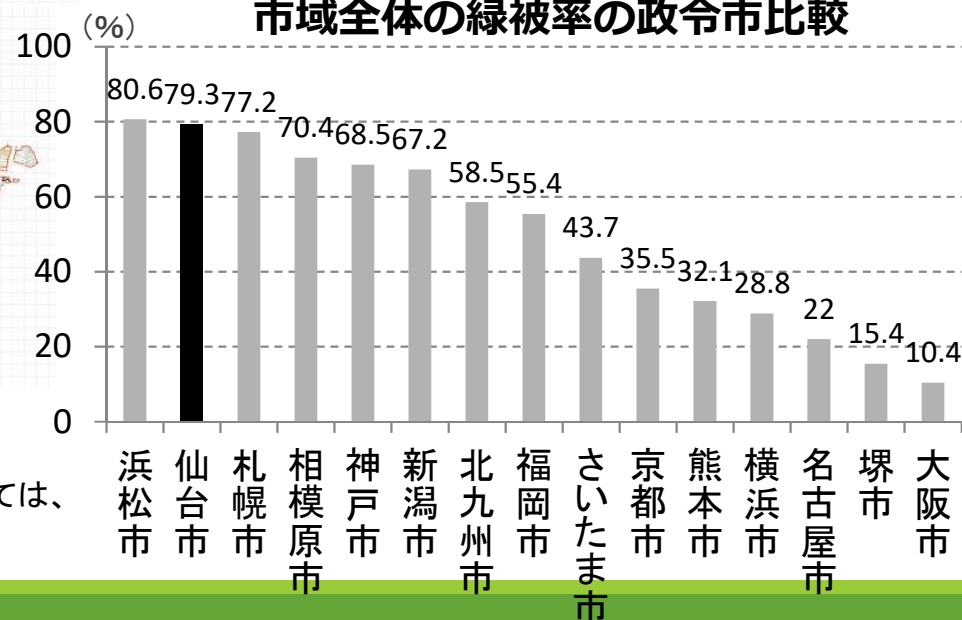
西部地域の樹林地と東部地域の農耕地をつなぐように複数の河川が流れ、みどりのネットワークが形成されており、市域の約8割がみどりに覆われている。



仙台市域全体の緑被率（2014年）



市域全体の緑被率の政令市比較



※政令市の比較について、調査実施年度及び調査方法については、都市によって異なるため単純な比較はできない

## 4. 本市のみどりの特徴と現状

### ○市域全体の緑被率の推移

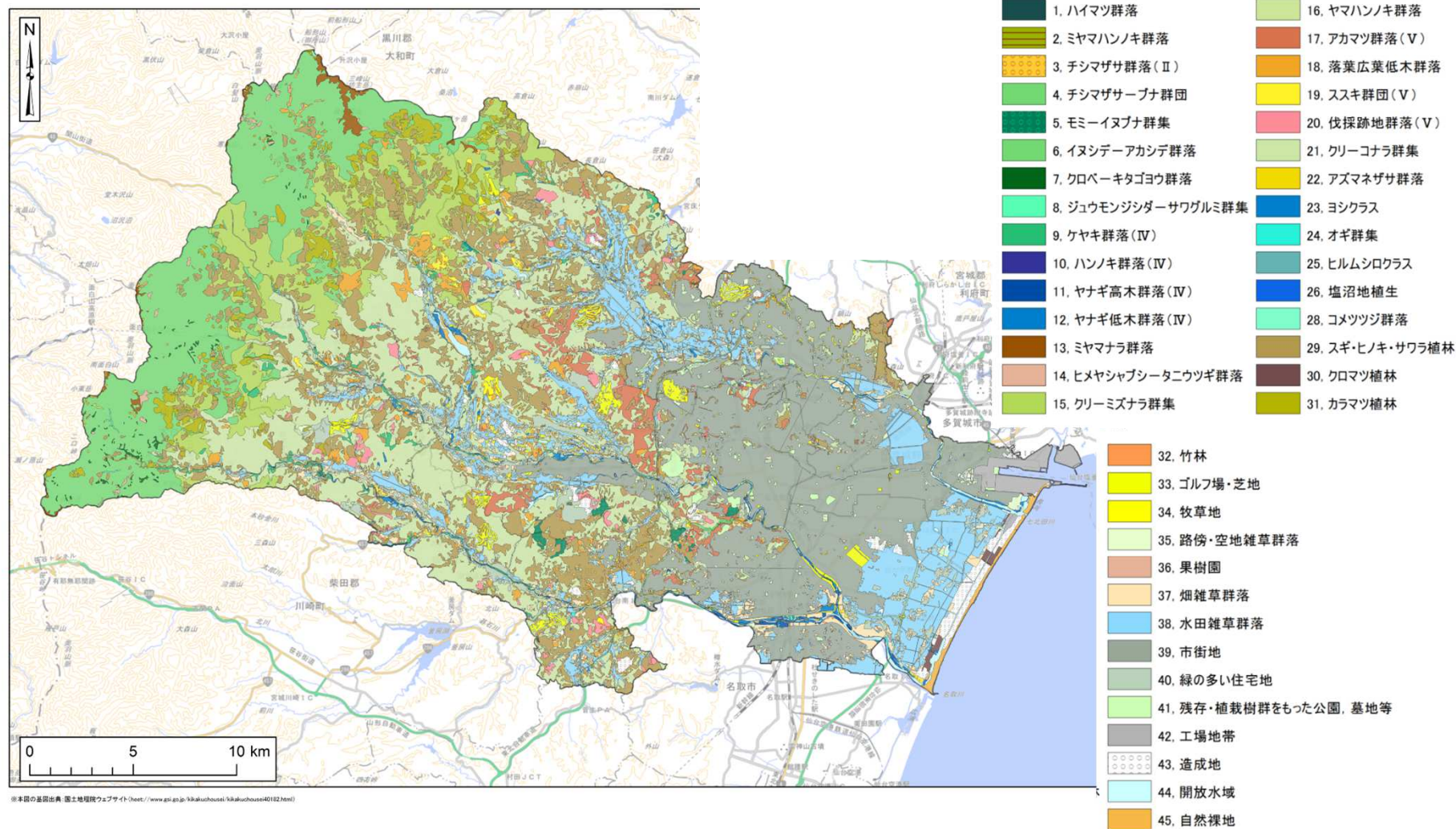
緑被率は向上しているが、樹林地が減少し、草地が増加している。



# 4. 本市のみどりの特徴と現状

## ○みどりの構成

市域が奥羽山脈から海岸まで広がっており、植物相が多様である。

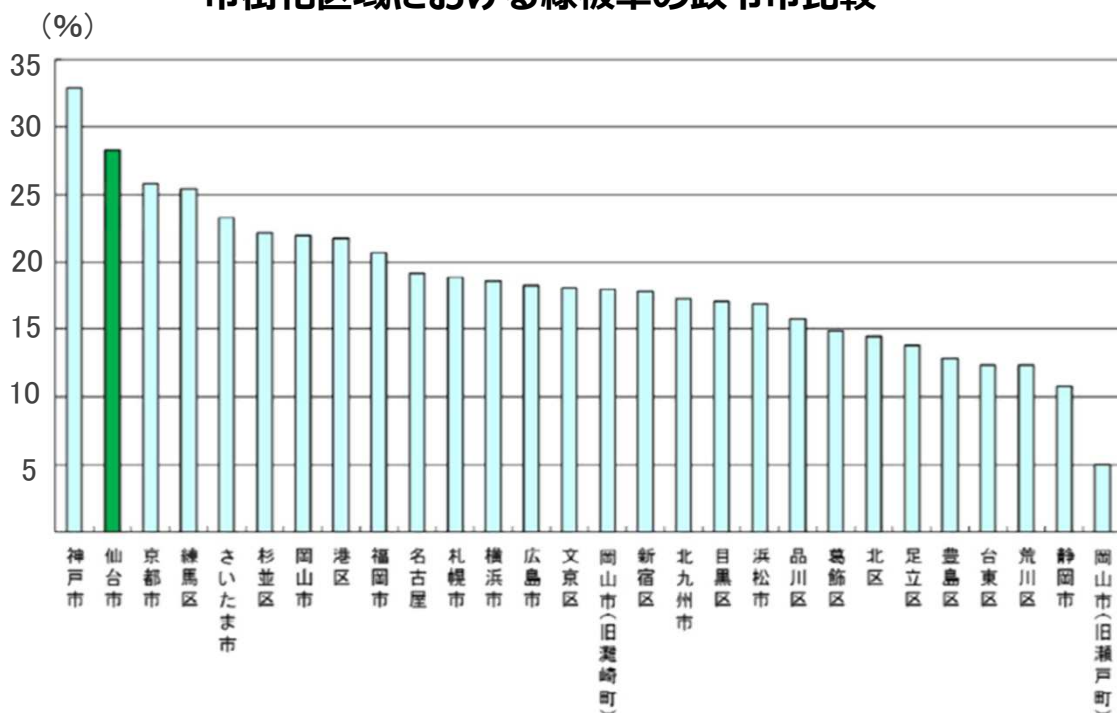


# 4. 本市のみどりの特徴と現状

## ○市街地のみどり

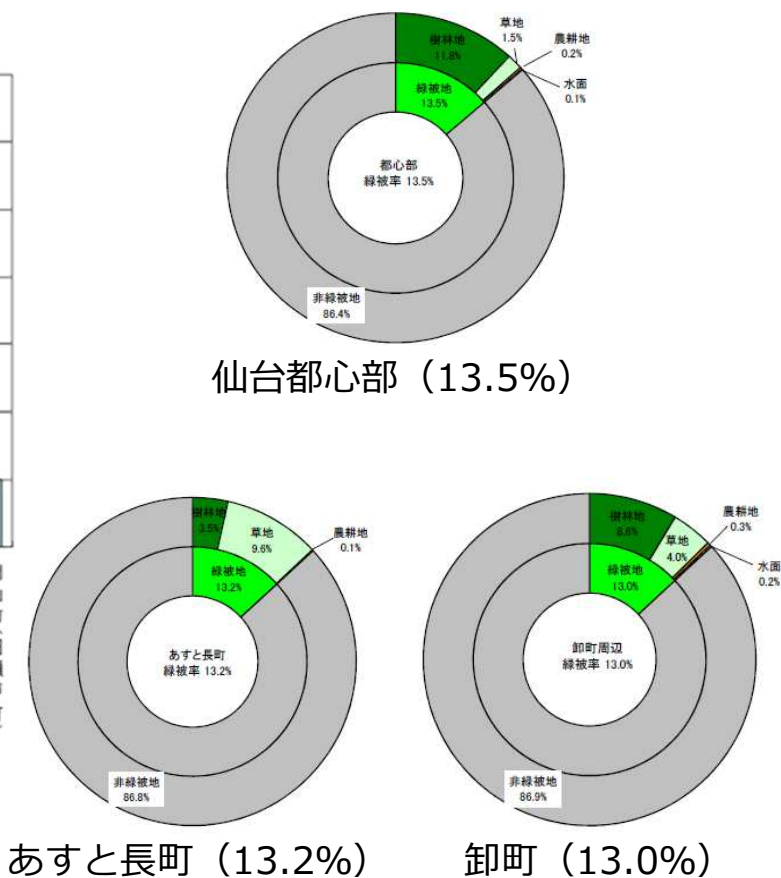
市街化区域における緑被率は政令市間で上位であるが、緑化重点地区3箇所の緑被率は同程度にある。

市街化区域における緑被率の政令市比較



※政令市の比較について、調査実施年度及び調査方法については、都市によって異なるため単純な比較はできない

緑化重点地区（3箇所）緑被率（2014年）

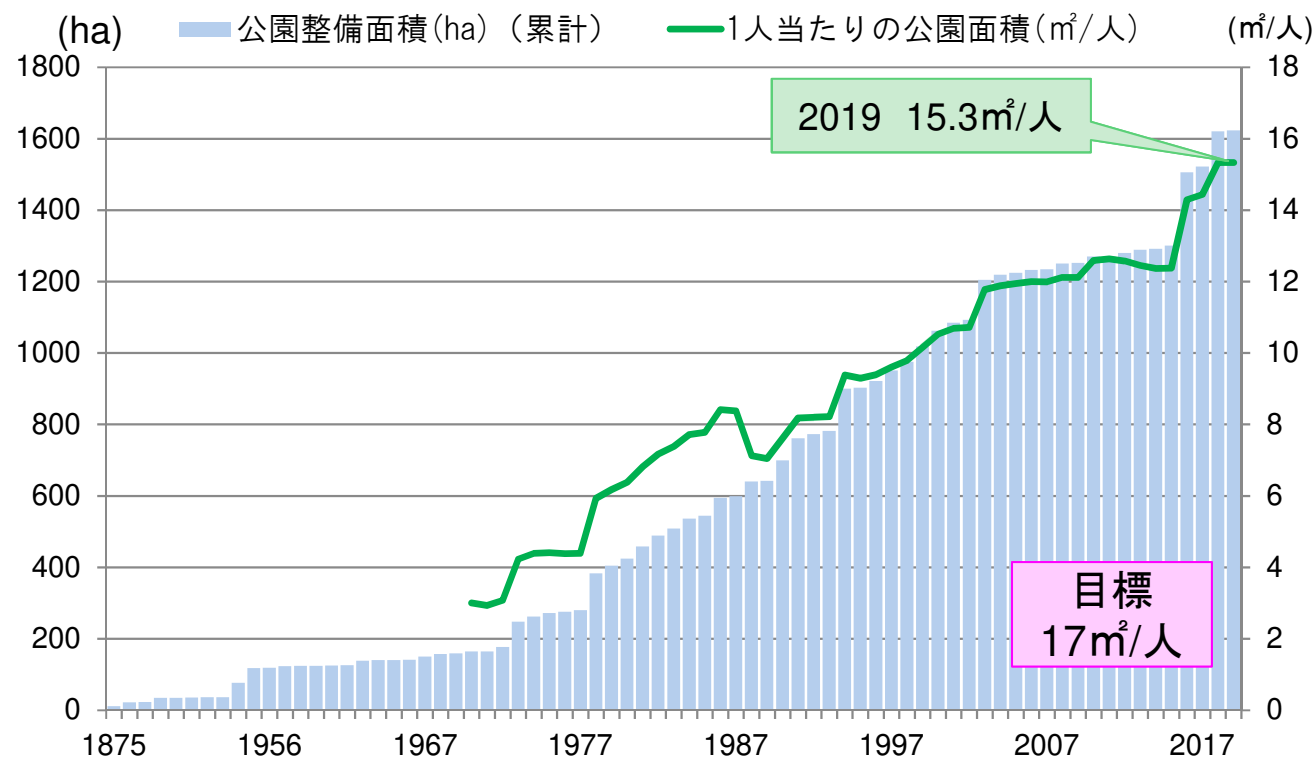


# 4. 本市のみどりの特徴と現状

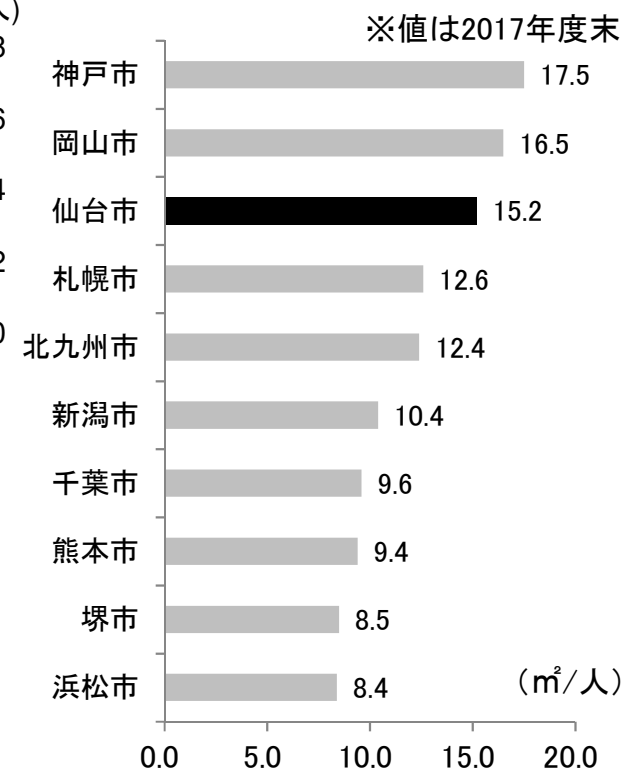
## ○都市公園について

市民一人あたりの都市公園面積は政令市中3位と高水準にある。

都市公園面積の推移



市民一人当たり  
都市公園面積 (上位10都市)

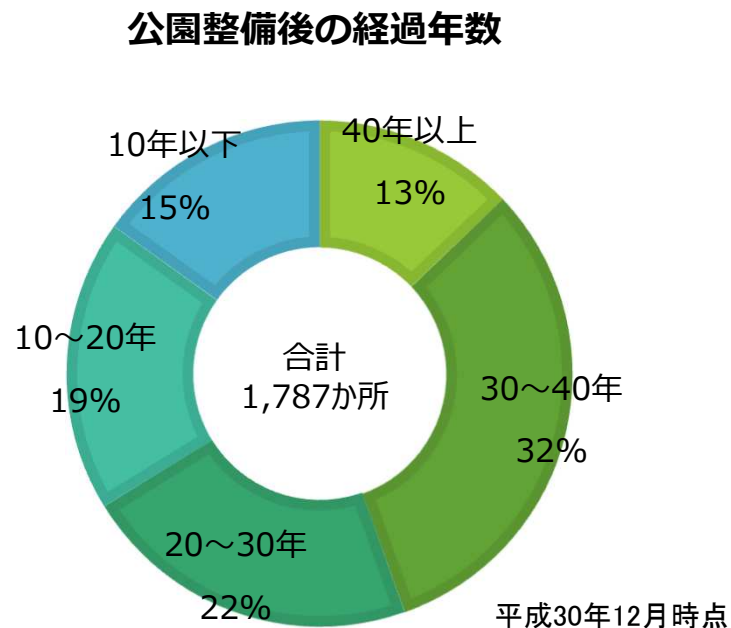




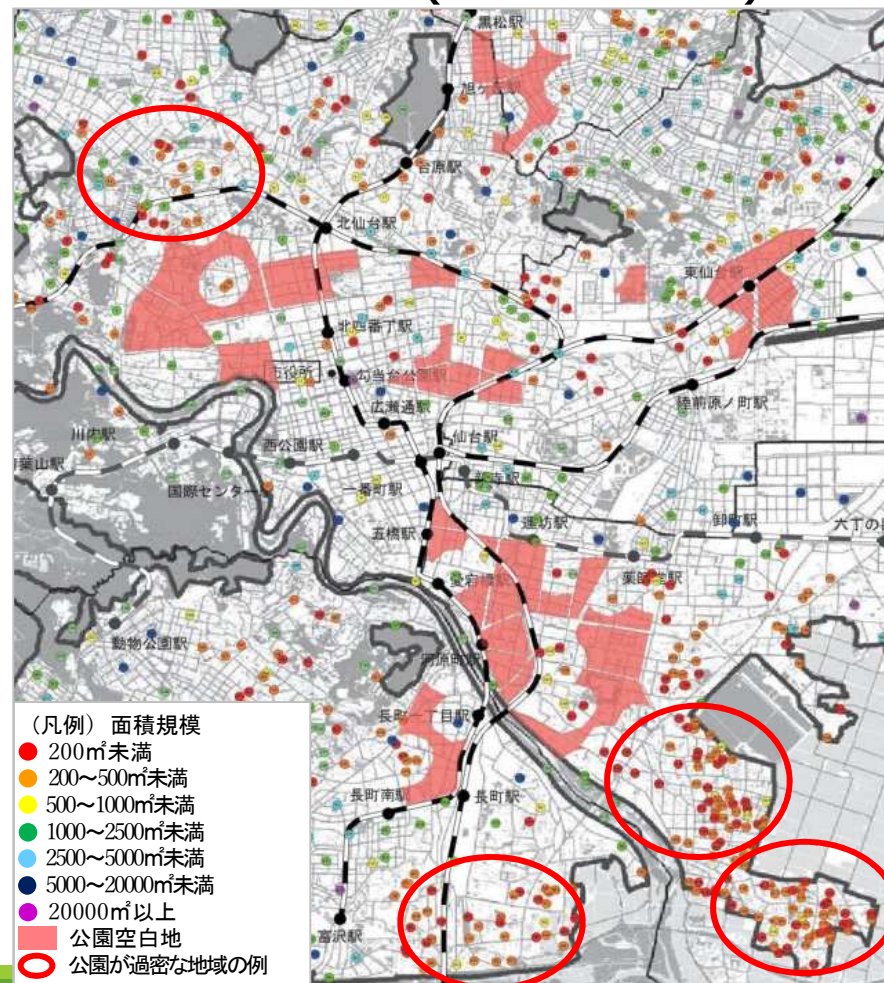
# 4. 本市のみどりの特徴と現状

## ○都市公園について

開設後30年以上経過し、施設が老朽化した公園が4割を超える。また、公園の配置状況に地域によって偏りがある。



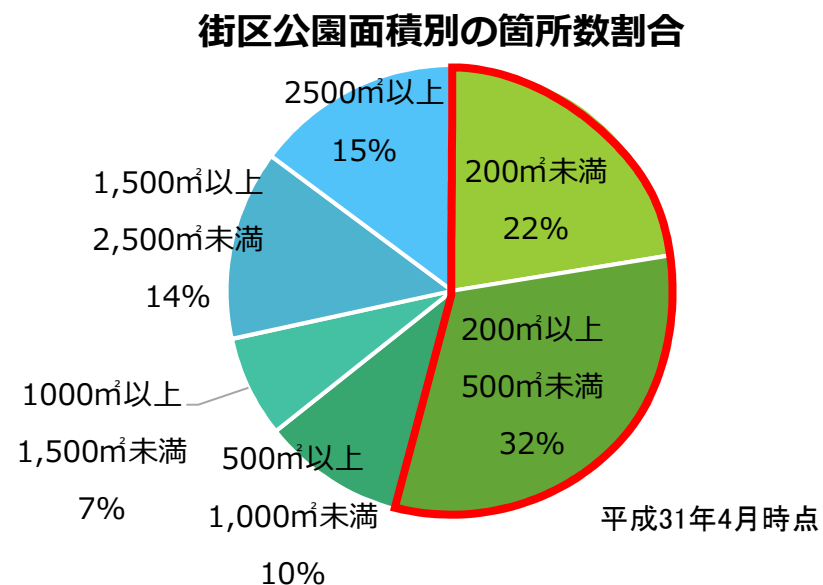
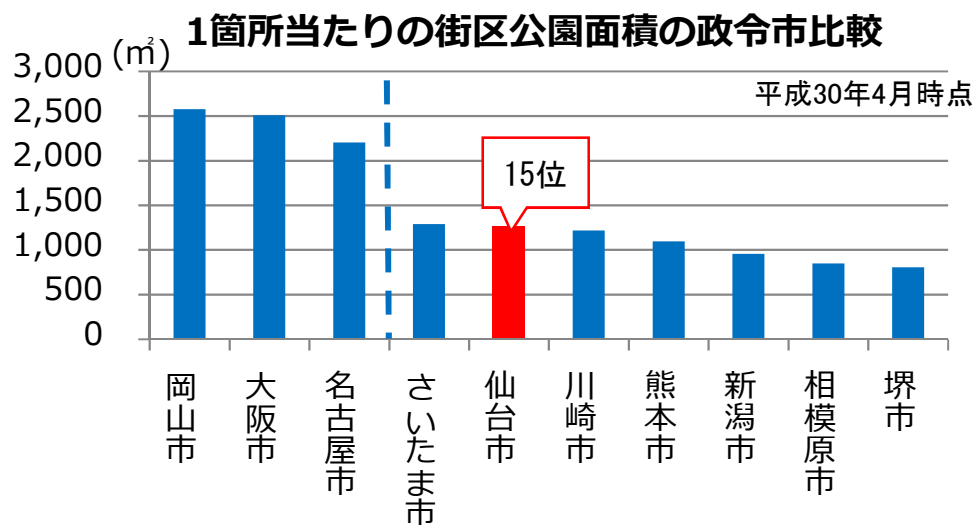
### 公園の配置状況(平成28年4月時点)



## 4. 本市のみどりの特徴と現状

### ○都市公園について

街区公園1箇所あたりの平均面積を比較すると政令市間では15位と低水準にある。また、街区公園の面積別割合では、50%以上が500㎡未満であり、小規模公園が多数存在する。

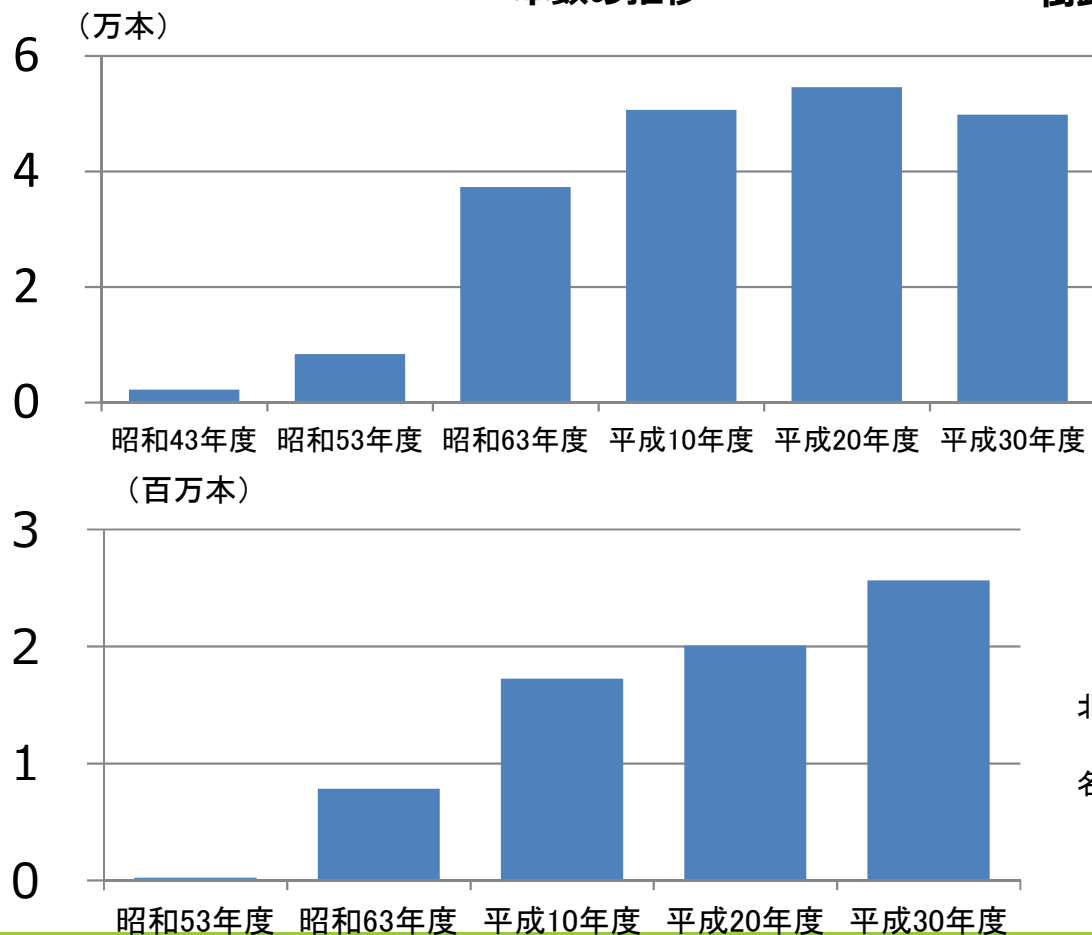


# 4. 本市のみどりの特徴と現状

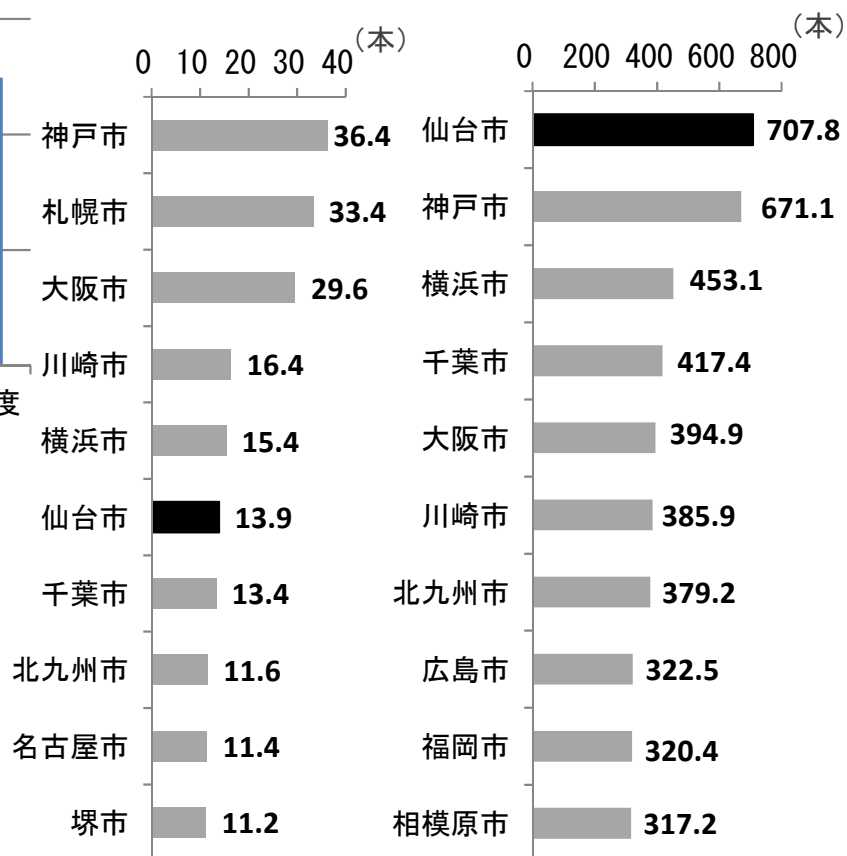
## ○街路樹について

管理道路1kmあたりの街路樹の本数は中低木が政令市中1位、高木が6位と高水準にある。

街路樹（上：高木，下：中低木）  
本数の推移



管理道路1kmあたり  
街路樹(左：高木，右：中低木)本数(上位10都市)



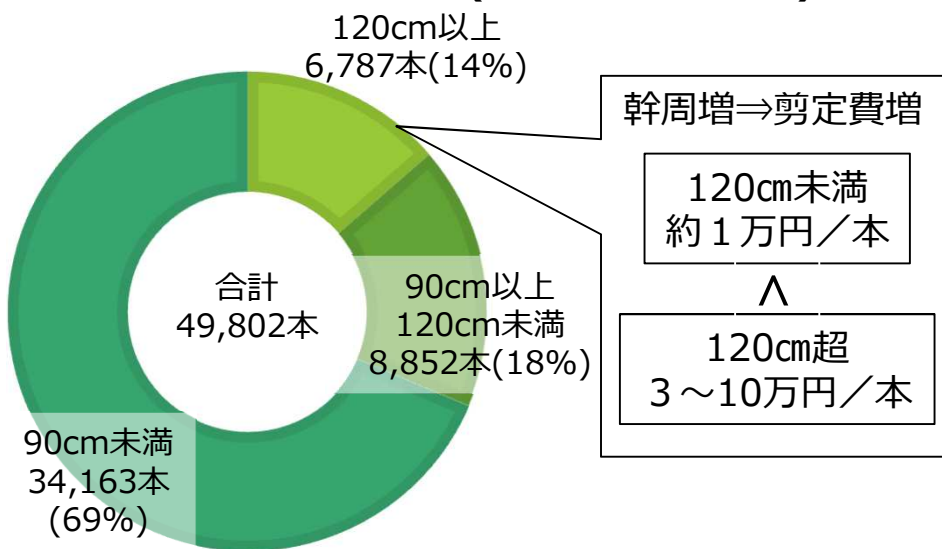
【出典】右:「わが国の街路樹Ⅷ」(2018年11月)を基に作成

# 4. 本市のみどりの特徴と現状

## ○街路樹について

成長した街路樹が原因による道路の安全性の低下や、管理費の増大が生じている。また、安全面に問題がある現行基準不適合箇所が多数存在している。

### 街路樹（高木）幹周割合(平成30年4月時点)



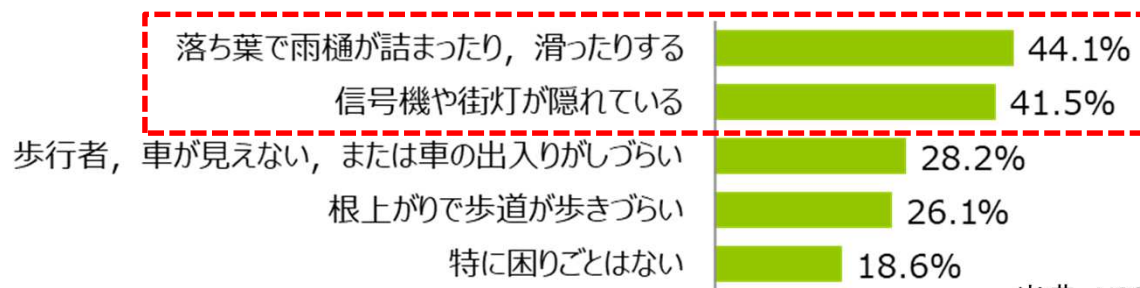
基準不適合箇所



根上がりによる舗装の隆起



### 街路樹に関する市民の困りごと



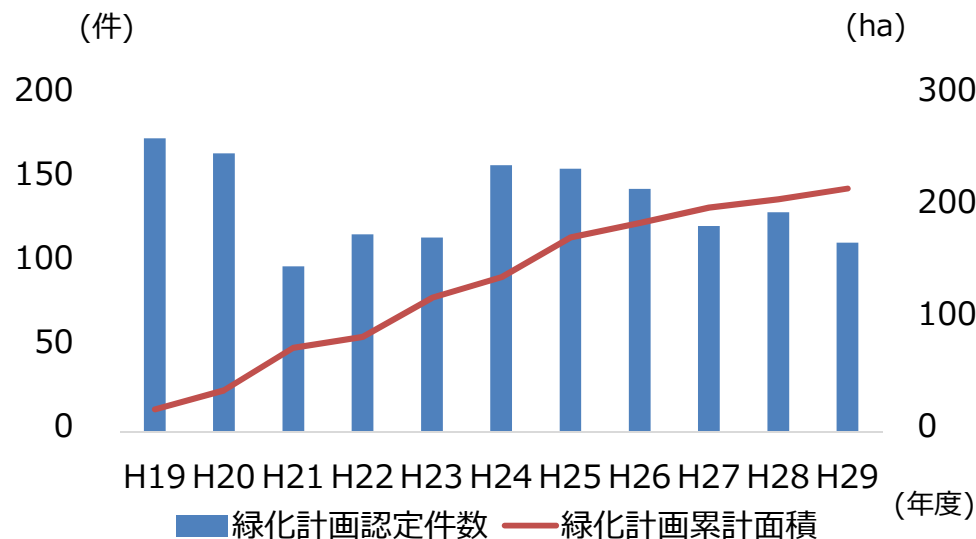
出典：H30市政モニターアンケート

## 4. 本市のみどりの特徴と現状

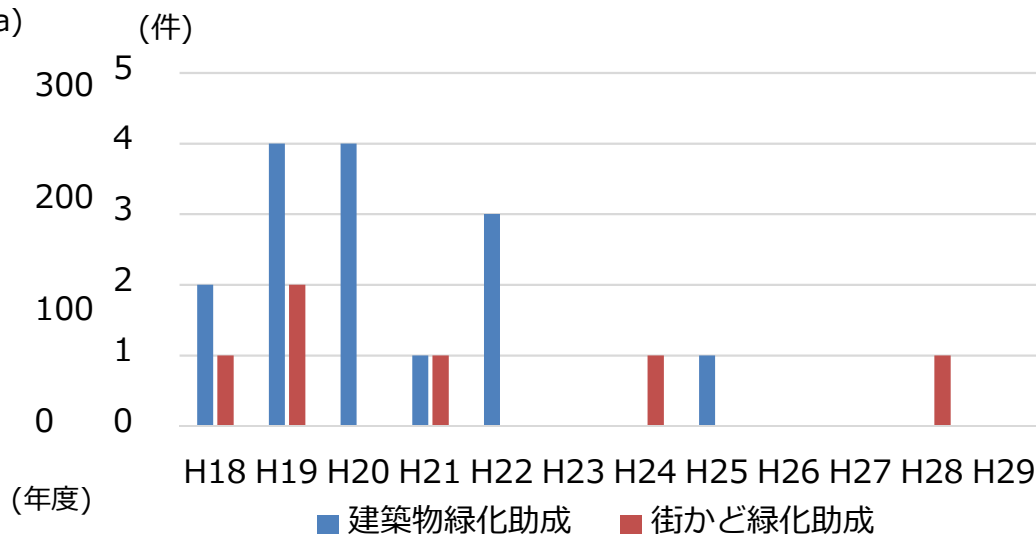
### ○都市緑化について

杜の都の環境をつくる条例に基づく緑化計画面積は累計約216haまで増加しているものの、緑化重点地区等における緑化助成制度実績が伸び悩んでいる。

#### 緑化計画認定件数・緑化計画面積



#### 緑化重点地区等における緑化助成制度実績の推移



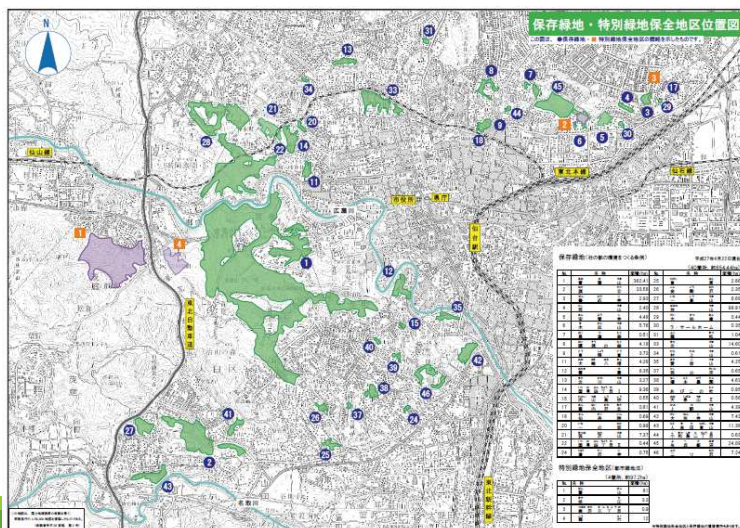
# 4. 本市のみどりの特徴と現状

## ○緑地の保全状況について

保存樹木で枯損等があったものの、担保性のある緑地等を着実に増やしている。

	現計画策定時 (平成24年4月1日)	現在 (令和元年4月1日)	増減
保存緑地	46箇所(662.17ha)	40箇所(643.34ha)	6箇所(18.83ha)減
風致地区	8地区(270.9ha)	8地区(270.9ha)	増減なし
特別緑地保全地区	1地区(81ha)	4地区(97.2ha)	3地区(16.2ha)増
保存樹木	177件(182本)	172件(177本)	5件(5本)減
保存樹林	9件	14件	5件増
市民緑地	1箇所	1箇所	増減なし

保存緑地・特別緑地保全地区（左），風致地区（右）位置図

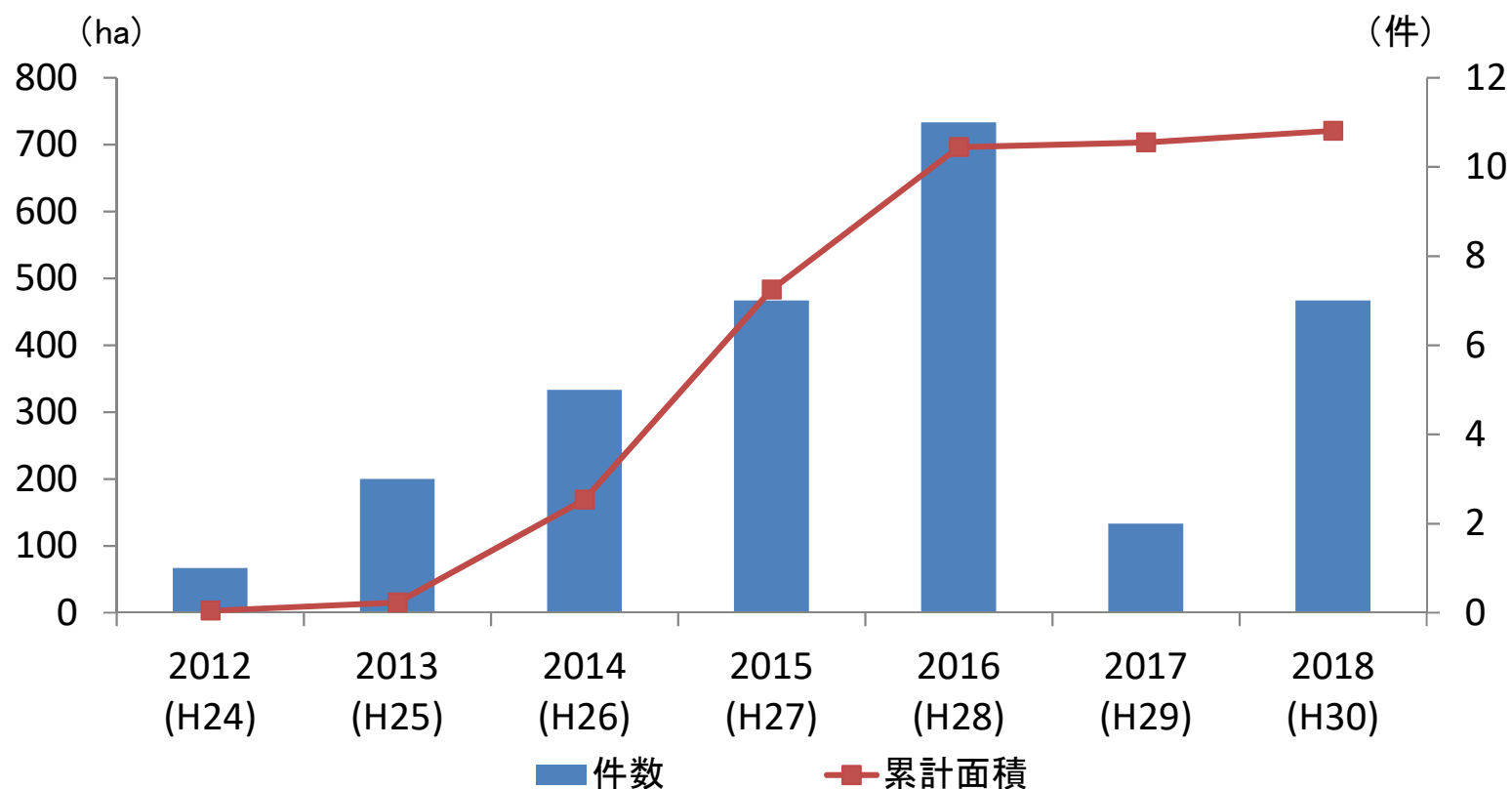


## 4. 本市のみどりの特徴と現状

### ○緑地の保全状況について

2012年のFIT制度開始をきっかけに、郊外部（市街化調整区域及び都市計画区域外）の緑地等において、太陽光発電施設の導入を目的とした開発が増加傾向にある。

土地利用調整条例に基づく郊外部における  
太陽光発電施設設置のための協定の締結状況



## 4. 本市のみどりの特徴と現状

### ○みどりの活動に関する担い手について

みどりに関する活動に市民・市民活動団体・事業者・行政が協働による取組みが盛んである一方で、人材確保を課題と感じている団体も出てきている。

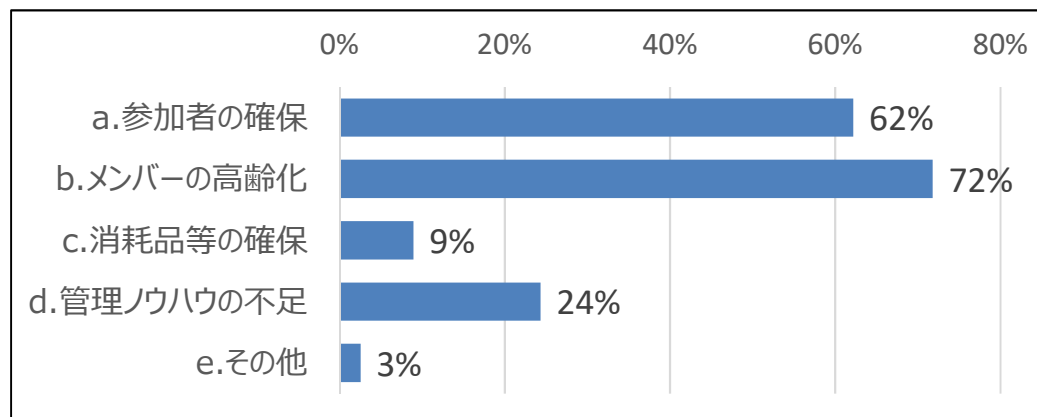
団体名称	現計画策定時 (平成24年度)	現在 (令和元年度)	増減
緑の活動団体	17団体	25団体	8団体増
公園愛護協力会	1,155団体	1,305団体	150団体増
河川愛護会	20団体	20団体	増減なし

みどりのまちづくりに関わる地域団体数

#### 仙台おもてなし花壇（スポンサー花壇）



#### 公園愛護協力会の活動を行ううえで、課題と考えていること



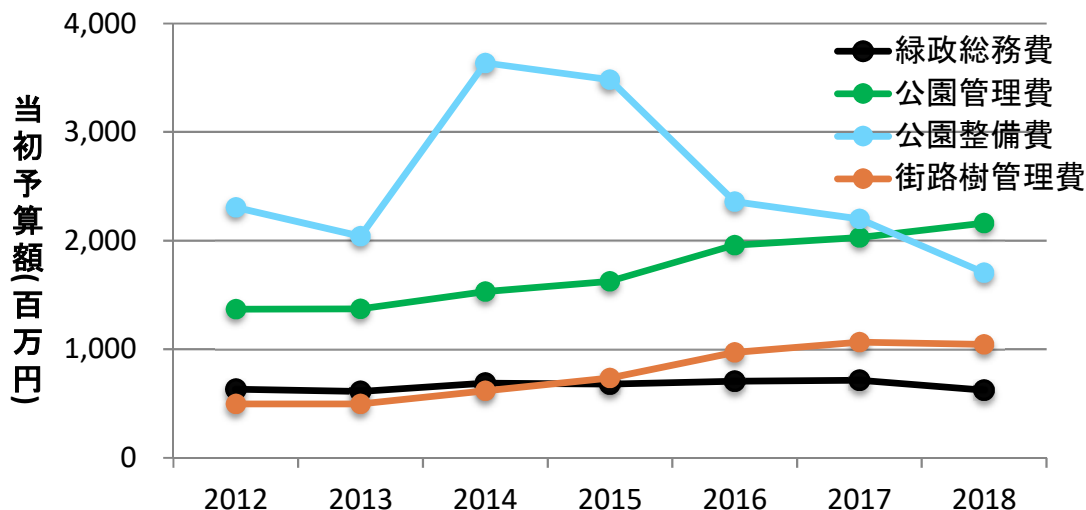


# 4. 本市のみどりの特徴と現状

## ○事業費及び財源について

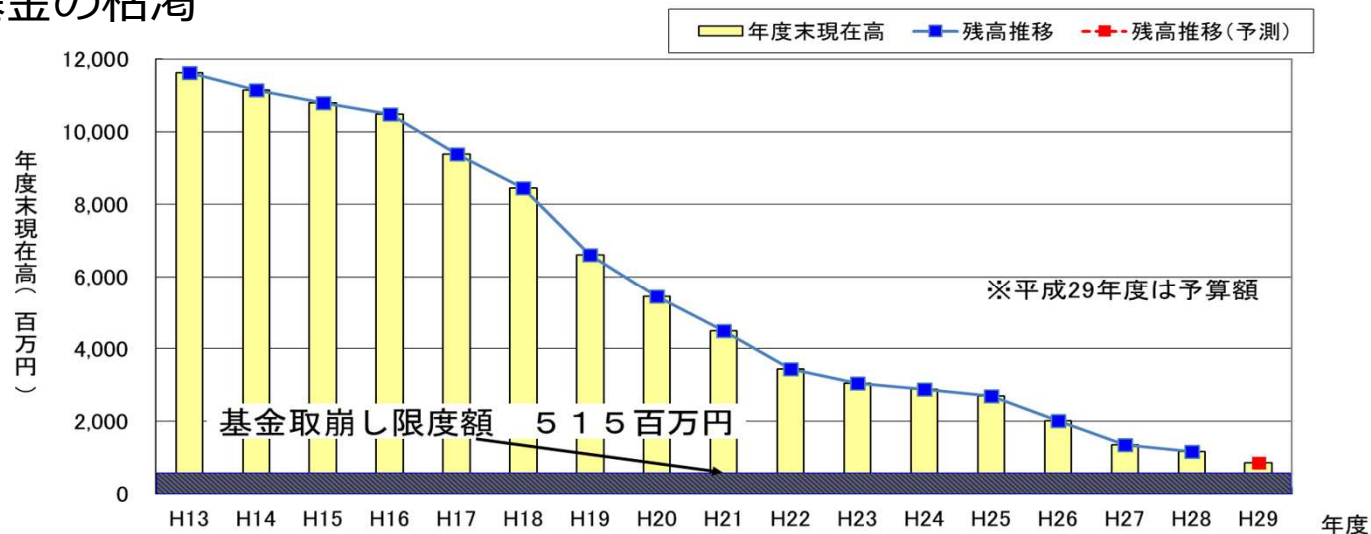
### ・主な事業費の推移

公園・街路樹管理費が震災以降の物価上昇等に対応して増額されている。  
公園整備費については、近年減少している。



### ・百年の杜づくり推進基金の枯渇

基金を取崩し、事業費を確保してきた結果、現在（平成29年度時点）の基金額は851百万円（予算額）と、取崩し限度額に近づきつつある。



## 4. 本市のみどりの特徴と現状

○市民意識（「令和元年度 施策目標に関する市民意識調査」より）

「百年の杜づくり」の取組みが高評価を受けている。

### 仙台市の各取組みに対する市民評価（上位5項目の経年変化）

「評価する（計）」（上位5項目の経年比較）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
1位	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり 81.8%	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり 81.8%	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり 82.8%
2位	医療サービスや救急医療体制の充実 72.0%	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり 69.2%	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり 73.6%
3位	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり 71.9%	市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり (同率3位) 68.1%	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり 71.7%
4位	市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり 69.5%	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり (同率3位) 68.1%	医療サービスや救急医療体制の充実 67.3%
5位	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり 68.7%	医療サービスや救急医療体制の充実 67.4%	生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進 65.8%

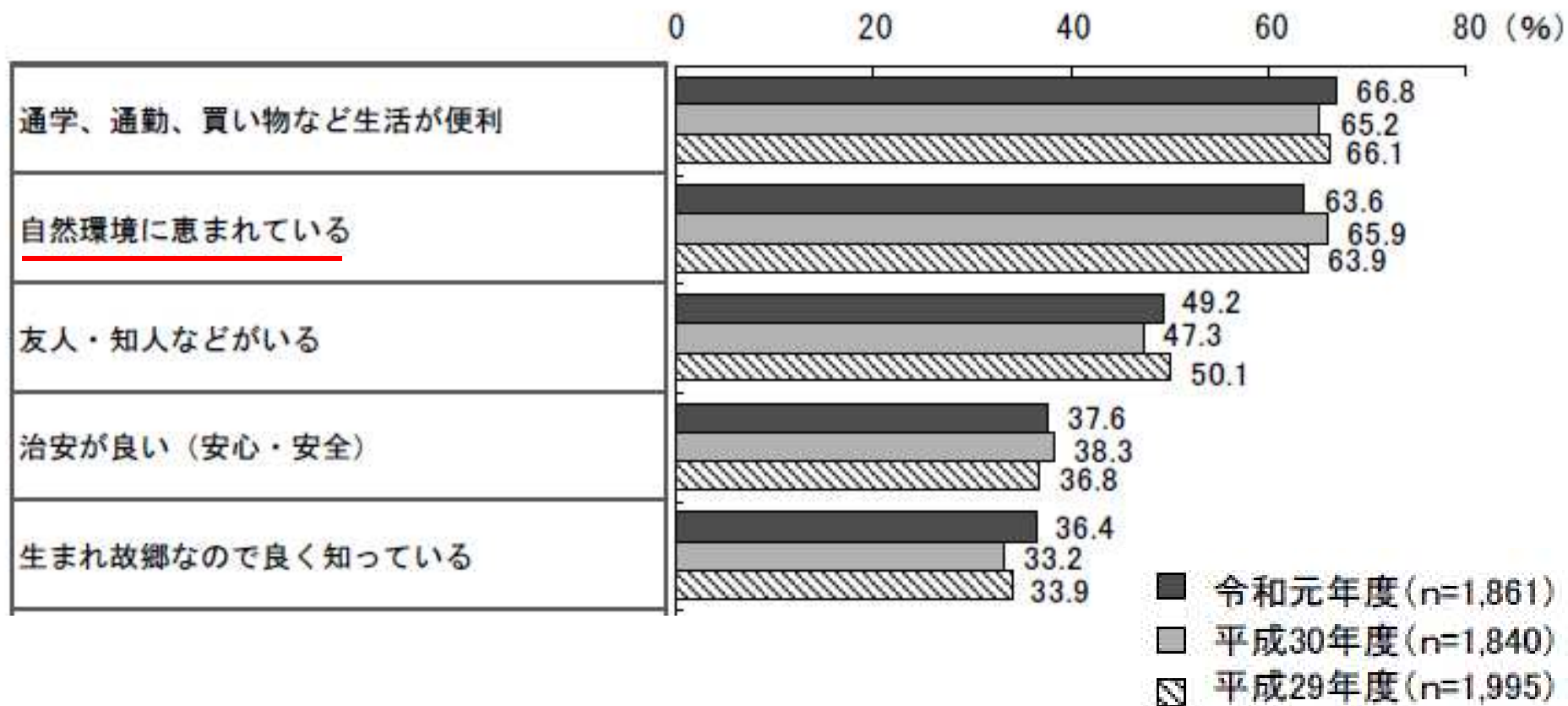
H29は6位(65.5%)

## 4. 本市のみどりの特徴と現状

○市民意識（「令和元年度 施策目標に関する市民意識調査」より）

仙台市が住みやすいと回答している市民の多くが、「自然環境に恵まれている」ことを理由に挙げている。

仙台市の住みやすさの理由上位5項目とその経年変化

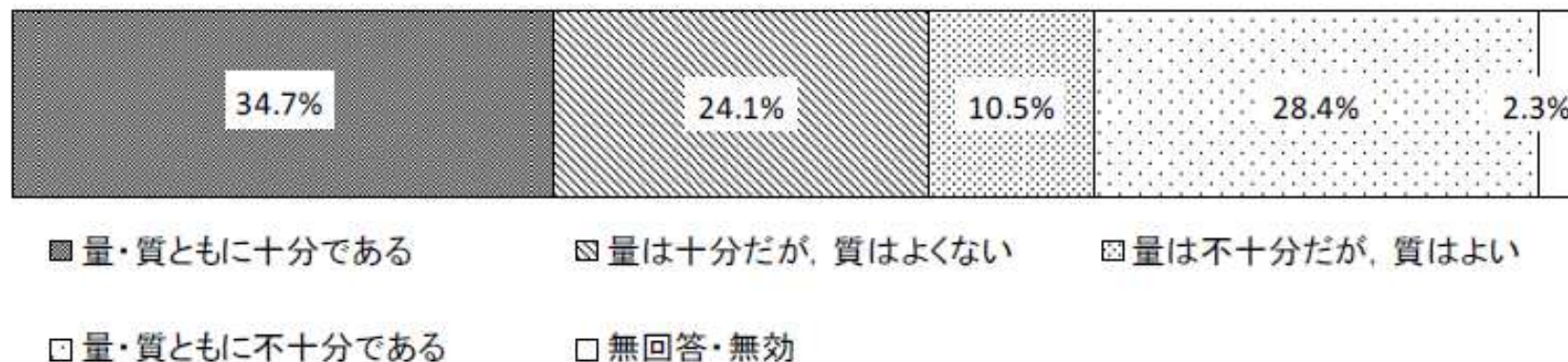


## 4. 本市のみどりの特徴と現状

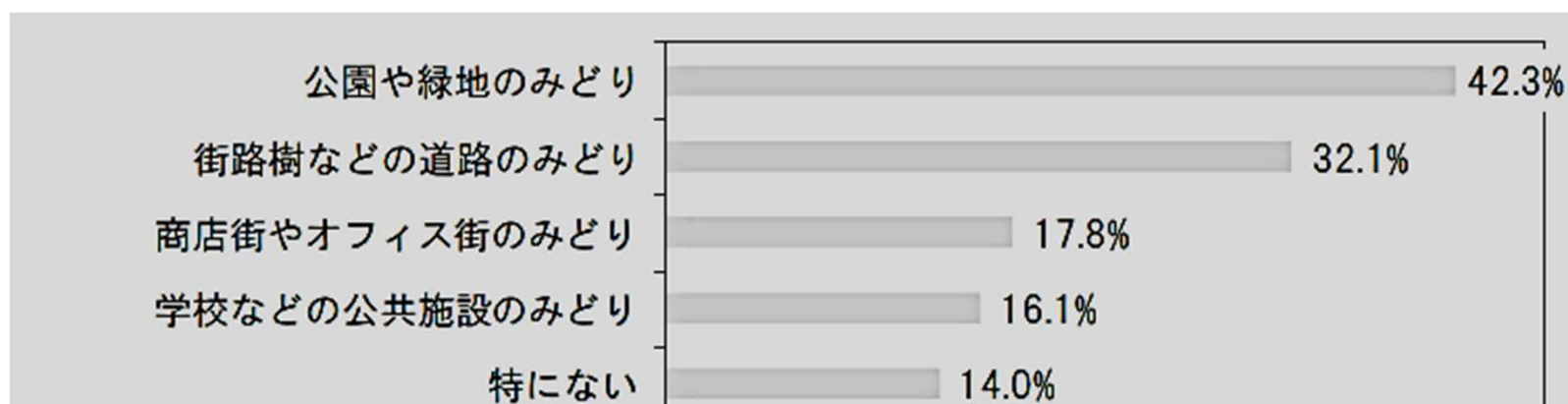
○市民意識（「令和元年度 みどりの市民意識調査中間報告書」より）

身近なみどりについて、「量は十分」と回答が5割を超えるが、「質は十分」と回答は5割を下回る。また、欲しいと思う身近なみどりは、「公園」や「街路樹」という回答が多い。

身近なみどりの満足度



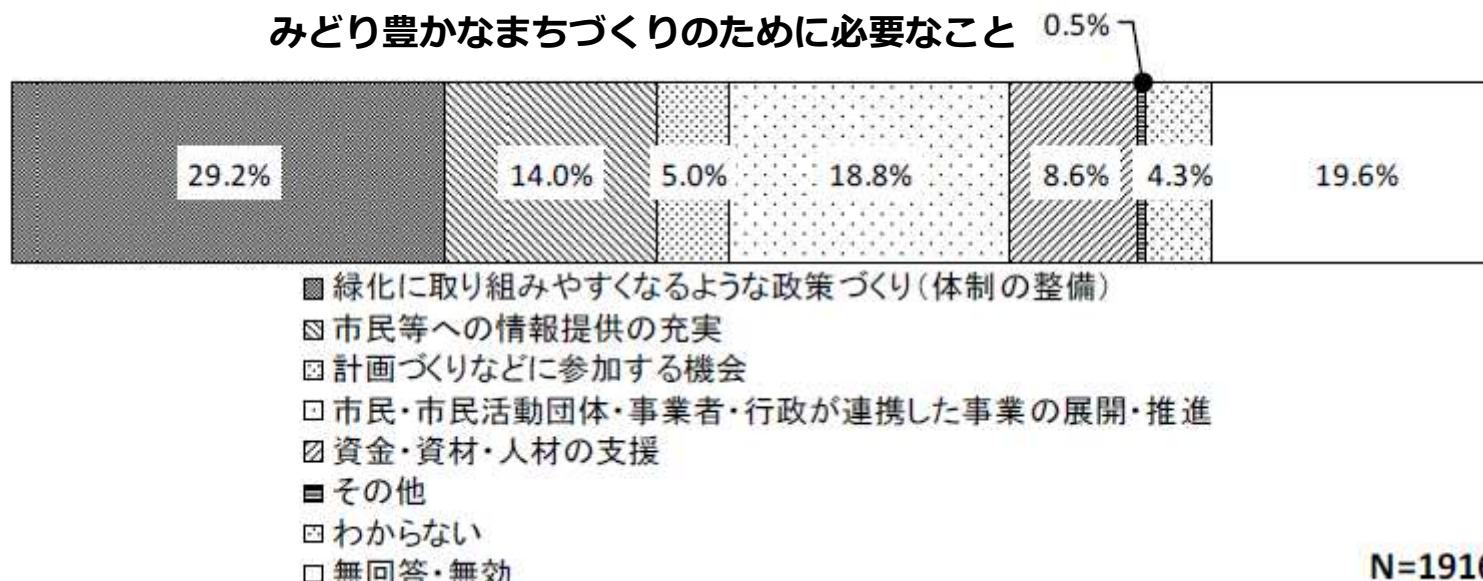
欲しいと思う身近なみどり（上位5項目抜粋）



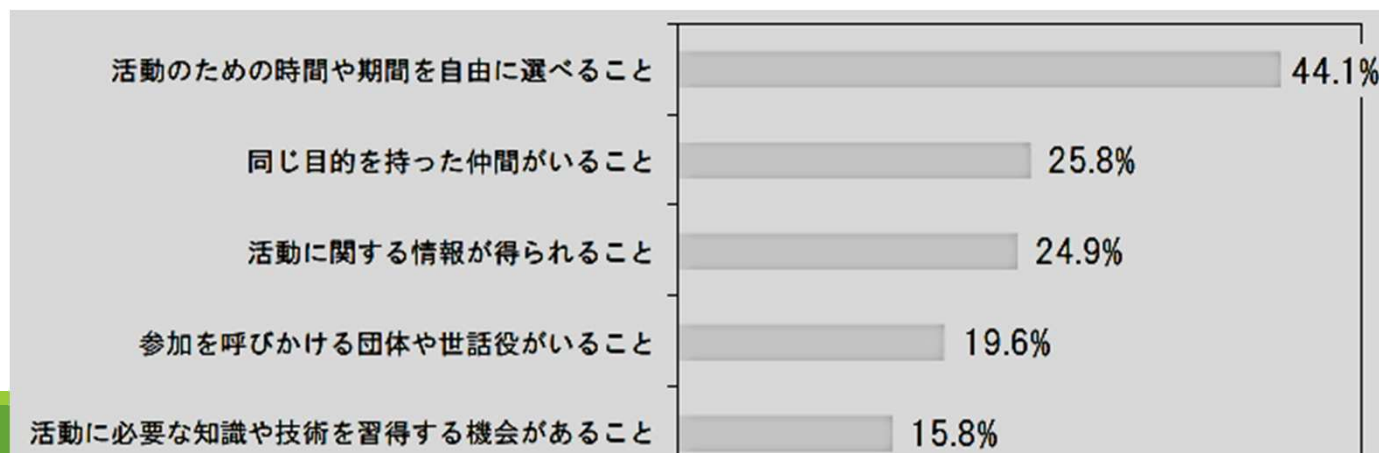
## 4. 本市のみどりの特徴と現状

○市民意識（「令和元年度 みどりの市民意識調査中間報告書」より）

みどり豊かなまちづくりのために必要なことは、「緑化に取り組みやすくなるような政策づくり」が最も多い。また、活動に参加する条件は「時間や期間を自由に選べること」が最も多い。



### みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件



# 目次

---

1. 緑の基本計画とは
2. 現計画の振り返り
3. 社会情勢等の変化
4. 本市のみどりの特徴と現状
5. 課題の抽出

## 5. 課題の抽出

### ○課題の抽出について

「現計画の振り返り」, 「社会情勢等の変化」, 「本市のみどりの特徴と現状」等を踏まえ, 現在のみどりの課題は次のことと考えられる。

#### ① 社会問題に対応するためのみどりの活用

人口減少や少子高齢化, 気候変動, グローバル化など社会状況の変化に伴い生じている問題に対応するためにみどりの活用が必要である。

#### ② 新たなみどりの創出

市域の約8割がみどりに覆われ, 政令市の中でも都市公園面積, 街路樹本数が高水準にある一方で, 緑化重点地区や公園空白地などにおいては今後もみどりを新たに確保していくことが必要である。

#### ③ 既存のみどりの適切な維持管理, 保全

これまで市民共有の財産として育み, 様々な効果を発揮してきたみどりについて, これからも効果が発揮されるように, 適切な維持管理, 保全を行っていくことが必要である。

#### ④ 市民・事業者等との協働の一層の推進

様々なみどりのフィールドで行われている市民や市民活動団体, 事業者との協働について, 今後も継続させ, 発展させていくための取組みが必要である。